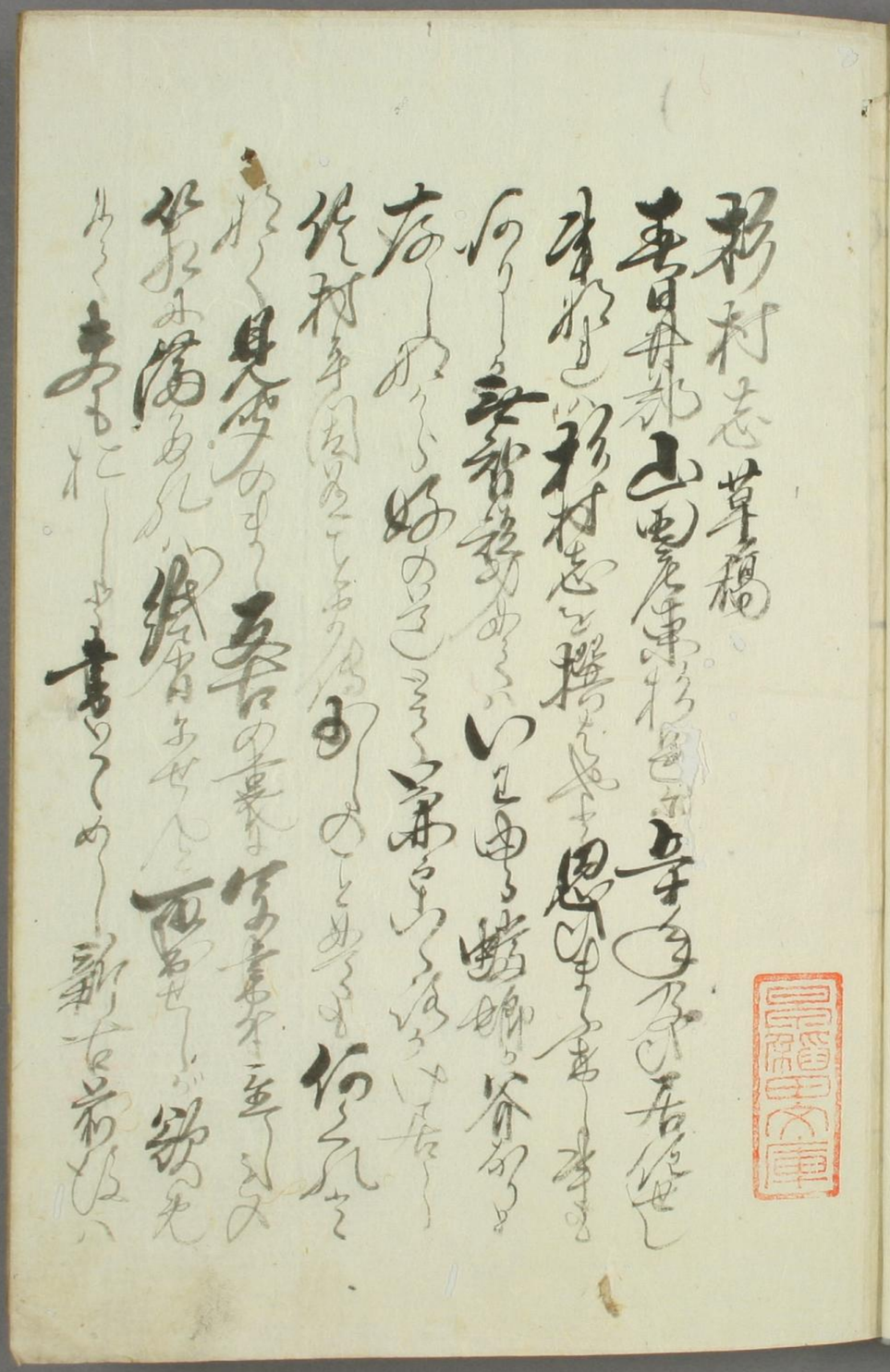
# 草稿杉邑志

特別
14
696
27

696
27



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

尾張十心（深田増蔵正弘著　義倉雪輯　遠田六兵衛校訂　我妻謹校　中尾八郎右衛門）

愛知郡名古屋の神社

藏王社

長久寺の北に在り　按ずるに國秘抵尊と為す

鎮座の年月未詳　北社と本國帳集説は山田郡

[illegible]山の神社は元[illegible]

[illegible]得記に天[illegible]得者と[illegible]後者と

[illegible]北社は此處の社家森氏の遠祖某大和國

吉野の藏王權現社を勧請し[illegible]の神宝を[illegible]

後者[illegible]

[illegible]武家記[illegible]武人

[illegible]北設の[illegible]中世以後の[illegible]社[illegible]武外

[illegible]事明[illegible]按[illegible]彼社人吉野より[illegible]

[illegible]舊[illegible]神社[illegible]故[illegible]吉野山

[illegible]藏王權現を勸請せしと云ふ

社地理を按ずるに式内

形勢あり古社なるべし

大宮氣八幡社も又

北社北に近しまた

北谷の社なるべし

考へ合すべし

摂社

福王寺社　稲荷社　白山社　秋葉社

例祭

水月十二神饌奉

延喜式神名帳曰山田郡片山神社

本國帳従三位片山神社

尾張名所圖會云式記祭神安閑天皇

藏王權現　往昔より都てこれを吉野山

藏王權現と御同躰なりと云ふ

天神六代國狹槌尊

次に稚産靈尊

御子豐雲野尊

次に豐斟渟尊

次に泥土煮尊

次に大戸道尊

次に面足尊

次に伊弉諾尊

次に伊弉冉尊

天四十代天武天皇

此地を勸請者歟

式書曰別に豊社神廣式に依て往来安

[illegible]の時もあり

吉田神社信仰の神なり

和歌まつり来れり

[illegible]

又當社芳野櫻の種をうゑ昔ハ祈願の人
数株の櫻と聞しかれ共花盛の比ハ是を見
ものゝ殊に音ハ社殿をかこみ[illegible]
山井のうちに[illegible]
櫻いつれも此社の神木にして[illegible]
△塩見櫻 境内第一殿南にあり新木なり
虎渓錦大金りハ[illegible]試櫻にて[illegible]
[illegible]
誰しらん
[illegible]
△御手洗之池 社の北宮下之

求話 白元

△鐵鑿井志水 御手洗池の巽西のうへ
相傳ふ或時神主の家より義経此所を用ひ鐵鑿
[illegible]
△椹志水 諸の井を[illegible]
△銀香志水 諸の井[illegible]
△蟹山 御手洗池の[illegible]
[illegible]
[illegible]和州藏王權現を[illegible]
八ハ力子山の轉語なり又椹の木[illegible]
[illegible]
○坊ヶ坂 藏王權現の門前[illegible]
○尼ヶ坂 藏王權現門前[illegible]

# 杉邑八景

○下馬抗蔵王尼ヶ坂の角に在

抗蔵門出石[illegible]

○地蔵尊

[illegible]

像の図

[illegible]

○三狐神（サグリ）

竹腰氏新屋敷裏に祭る

又佐軍神　齋宮神　釋神　社宮司　地若止

社軍神　石神

佐軍神
齋宮神
社軍神
石神
社宮司
日蓮宗
地若止

神祇祭祀略記

三狐神（ミヤグリ）　御笠郡神の假名也

内宮御鎮座傳記　倉の神は素盞嗚尊子
宇賀魂神　名号尊　三狐神トモ　神名秘書
大田命の傳　茅命同じ　其尊女の称は稲霊
假名也　農家に祭り　田の神トスハ故
此詞多し　佐軍神　齋宮神等　其狐の字は中世
以来白狐の　以テ宇賀の神　宦者の歌有り
狐ヲ尊女命婦等　故に其尊女の假

陪ヶ下
ヶ為ノ子孫

三狐ト言サグシト呼ヘリ

道祖神　上総要義曰祖道行祭為道路祈也
黄帝ノ子ノ名累祖行遠遊而死於道故後人以
為行神出行有祭之因饗飲之又惡劫風俗通
曰謹案礼傳共工之子曰脩行遠遊而車所至
足跡所遍無不覆載故祀以為祖神祖徊也
俗ニヤクジト云
又一説ニ道祖神ハ蹠ノ神ナリ伊弉諾尊故ノ地
神ニ坐ス

厚覽草
大瀬古里ニ
三狐神有
是ハ相馬平親王將門ガ首ヲ祭ルト古傳ナリトモ
先年ハ此處高高ニ祭ル祠ヲ祖ノ国ニ移ス考ヘシ

春日井郡　附旧郡
神名式ニ並倭名類聚抄作春日郡　大八洲記作
春日郡　加須我倍風土記作春日郡
郡界在于愛智郡北丹羽郡東及南東自濃州
可兒郡且同土岐郡東南隣三州郡西南東
河而隣伊勢海東二郡
古春日郡山田二郡也中世合山田郡為一郡
故郡内廣大也今左元十二邑一百八十四村田
和名類聚抄曰春日郡池田柏井餐上村
高蔵餘戸山田郡両村主惠船木石作土器山口
加世餘戸神戸驛家上両郡ニテ十六左也然ニ今十二
左者ニ安食相井二名而已残リ其餘皆口口異也

片山天神社今称藏王權現　社司　森氏

神殿　拜殿　鳥居　額　片山神社津嶋社入　惣門

張州府志曰俗誤云藏王神者式所謂片山神社是也

本國帳錄從三位天神今絶社記故鎮座創建不可

得考尋

今社家說曰當社藏王權現形三邑產土神奉齋片山

神社者三座乃延喜神名式所載之

第一本社國狹槌尊

第二末社木花開耶姫命

第三末社菊理媛命

抑奉齋當社片山大明神者國所第二神也又有秘傳

本社者天津彦々火瓊々尊大和國三芳郡神社之宮

与高鴨大明神同御座也所謂三芳野者吉野城金峯

高鴨之三所也當社第二左末社者是爲法隆寺大明神

乃木花開耶姫命此大山祇命之御息女瓊杵之

神后也奉称木花者櫻花之謂也又第二右末社者

是白山大明神乃曰菊理媛命此高皇靈尊之

神祇廻瓊杵尊之祖母神也侍惟殷持受繼神德
於國狹槌尊而尊中津國之第一主也故右深秘之上目
而曰國狹槌尊矣又高皇產靈尊及菊
曰締生神矣以社傳
又曰當社稱藏王權現者大和國芳野宮四狹槌尊ト云
故也當社ト芳野ト同ク一座ヲ云者ハ高鴨社ト同ク侍產ヲ以テ
ナリ是ニ依テ中古芳野ヲ藏王ト稱ス故ニ當社モ斯ニ云ヘリ
稱荷祠

神木　櫻樹　椙樹

社家ノ說ニ曰和州芳野ノ神木櫻樹也故ニ當社モ芳野
櫻樹ヲ移シ植ル所ニテ花容尋常ナラズ雅人ノ詠ヲ
賞スル所此櫻實文三年中行幸式家長古四
一株有テ大ナル二圍ニ餘リ枝葉甚繁榮ス長ク三尋無餘
古樹ナリシカ後自然ニ枯朽ニ依テ其枝葉ヲ
御倉村ニ請ケリ依是皆當社ヲ產土神トス杉村ノ長是
ヨリ起レリトリ又近邑上飯田下飯田邑ト謂ルモ殺椙樹ニ因テ
上ミ枝下モ枝邑ト云ヒシヲ後世唱ヘ誤ルナリト里民ニ傳リ此

故ニ今モ椙樹ヲ以テ神木ト崇ムナリ
極樹清水ノ神數北森ノ外ニ
是神池ニテ往昔池邊ニ大極樹アリ故ニ号テ靈水源ト云テ
絶ル事ナシ僧方ニ詣ル小池ヘ御里ノ田地潤澤ニ成ル旱
魃ニモ乾涸ノ憂ナク御氏其徳ヲ感テ俗稱福水ト云ヒ池
邊解ヲ多ク生ス

御手洗

御手洗此ヲ呼テ力ヲツケトニ傳ニ往昔神兒有テ毎日晨此所ニ
來テ錦袋ヲ洗ヒ敬ニ俗稱ス

祭禮

毎歲三次正五九月十一日ヲ以テ祭日ト定メ祭儀ハ清御湯
濺ヲ神輿ヲ奉ル祝詞ヲ奉ル但ハ
燈ヲ點ス昼間ヲ仕ヲ以テ九月ハ前夜燈ヲ張ル毎歲二百
ニテ座燈ヲ設ケ衣籠ヲ上下ス幸安ヲ祈ル抑當社ハ
人金城ノ民ニシテ芳下ノ鎮守タリ是ニ因テ昔時繁榮
寶ニ和別芳野神社當國片ノ神社ヲ以テ日本二社
夫迦ナリト社傳アリ

坊ノ坂　藏王ノ神ノ社ノ前ニアリ

或記ニ云往昔片山ノ神大社ナリシ時男坂ヨリ登ルヲ

誦唱ヲ人ヲ坂ノ坂ト云

尼ヶ坂　御ノ山ノ長人ノ長藏王ノ

是ニ右ニ所謂男坂ニ如ハ尼ヶ坂ト云ヲ

傳ニ往古片山ノ神境ノ坂ナリトイヘリ

○藏王社附　吉野櫻來由

藏王尼山神社境内吉野櫻一樹

文百歳ノ高ニ高貴ノ素盞嗚尊ノ植ル所ト云ヒ

其山ノ名ヲ尼山ノ名ヲ尚往ノ前ニ植ル人ノ

元ノ枝ノ枝ノ

枝葉ノ

神

神

歌人鳴ヲ

神

皆文政五壬午年春

奉納

以上神前三題ノ額面ノ寫ナリ

櫻

植主

燕至

以下豊岡氏右柄下亭の主人より寄

右豊岡氏より出る高倉伊勢守殿の屋敷花陽亭より

竹腰氏に移る家業後藤庵に竹腰家の医師

高義氏故に方法の秘伝を武に寛文の初より医業の為上京し

序に吉田山に設る所機本の為に拵る元禄十年

己丑月暑義氏亭右柄下に為文政五壬午年迄

凡百六十余年の家業

初代 古田義茂 二代 同弥四郎 三代 同曽平

四代 同 弥四郎

右柄の故に諸人の知る所なり燕至の所に別に手書を加へ文政年

燕至八幡宮井に諸名所の図を調ふる人也

平成日子撰

利忠

あれなれ人の知れの所の事を

文政五壬午年十月廿日 被草

回陽隊

昔陽隊義士伝に亦市隊有尾王隊

況の事 初名昔陽山と

尾張名所図会

義士隊の本拠なり

境内に海尾隊ありしの

しのうの里の人行山隊

白尾

○新道 志水より大久保に出る

此街道ハ元禄七年甲戌八月十日成瀬吉人正成正親
石川隠岐守殿帰渡ル 半蔵支配古三河野寺共
瑞龍院様ハ別野寺ニ居ル 同八年己亥三月十八日ハ徒歩
元年孫ニ見ル 故ニ新道ト云 此替地

○御社地杉 心入手門前ニ杉の木あり 今世俗ニ子ヤナト云
此杉の木ハ義直様現御宮 森氏の北
元年此杉の木の辺ニ

[illegible]

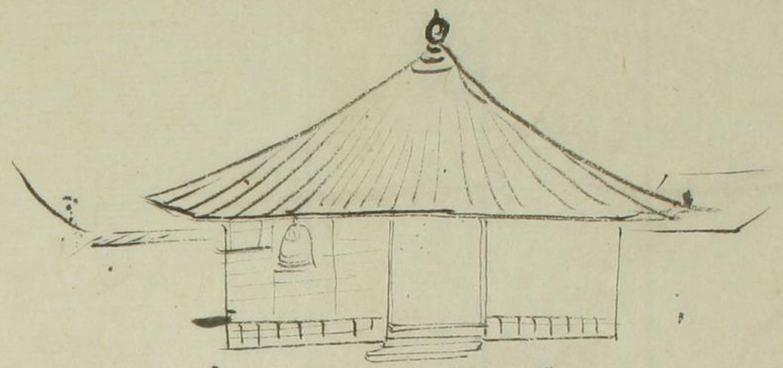
○秋葉宮常夜燈　新潟ノ伊久入寺入口ノ道ニ建
毎夜村中ニ火ヲ燈

○正覺山心入寺　禪宗同宗御名所
龍寺末寺

明星ト成道日ヲ祭ル　ヒトツ其形
贏身醜陋ニシテ
さるの苦行の後ハ
士六ヶ月の乳粥ヲ
食シテ精ヲ不元ス
金剛山ヲ踏ス
者ハ三時ヲ
限ル明星の出ル
所ニ偏ヲ法ヲ
ヒラク

△本堂　南向
本尊　明星見釋迦如來　法華ヲ
ヒラクヒトツ
本堂額　心入寺中興八宗山
門　南向山号額有
永平寺透豊書
△藥師堂　東向
△秋葉大權現　東向
△石佛　西向　三拾三所觀世音　南向
天保八年ヲ造ル
ヒトツ道和尚ヲ
天保十年十月吉祥上弁佛義

△津鳴牛頭天王　門前西ニ南向有
毎年村中ヨリ六月十四日夜前ノ池ヲ船ヲ
△金比羅天權現
△役行者　石尊
△地藏尊　石佛
△弘法大師　石佛
△高野沙門明王
△稲荷明　文久二壬戌年



○御社地筋之井戸

北井若水ト云ハ世俗弘法水共云

○條鳥　大曽根ト東杉谷ノ出郷ト云

○御鷹野橋　東杉東西ニ流レ

○櫻川　新道筋ニ流レ小川ト云ハ尾張名陽図会ニ七尾天満宮ノ南ハ堂ヲ新北ハ春日井郡ノ境ノ川ト云ハ

○珠寶　東杉西ノ端ノ尼ヶ坂ノ方ヨリ細ク流レ彩色多

○鬼ノ鳴　東杉村ノ内西北ノ陽田ノ中ニ有小ク塚ノ如ク

夢の後

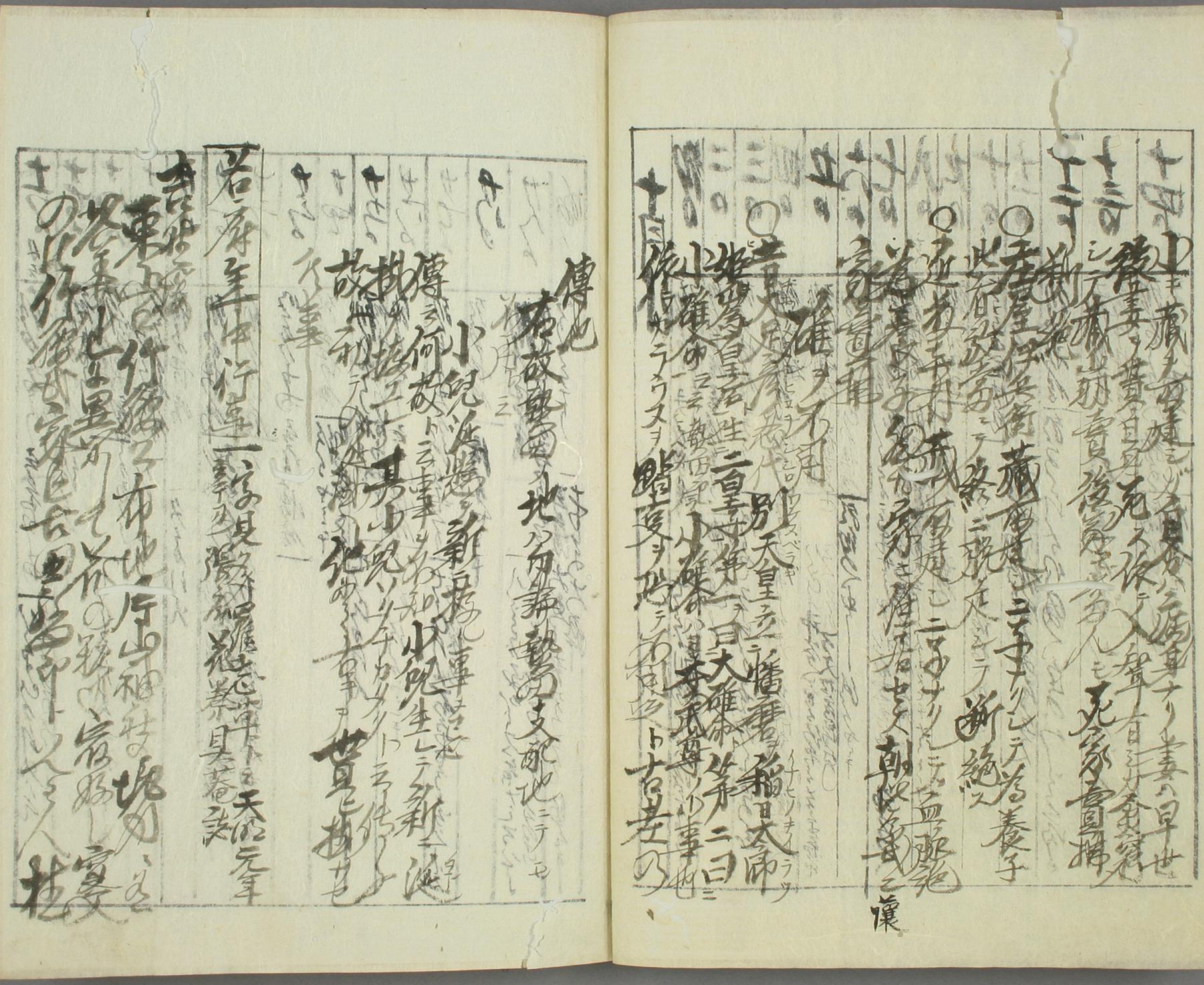
○尼ヶ坂石地蔵

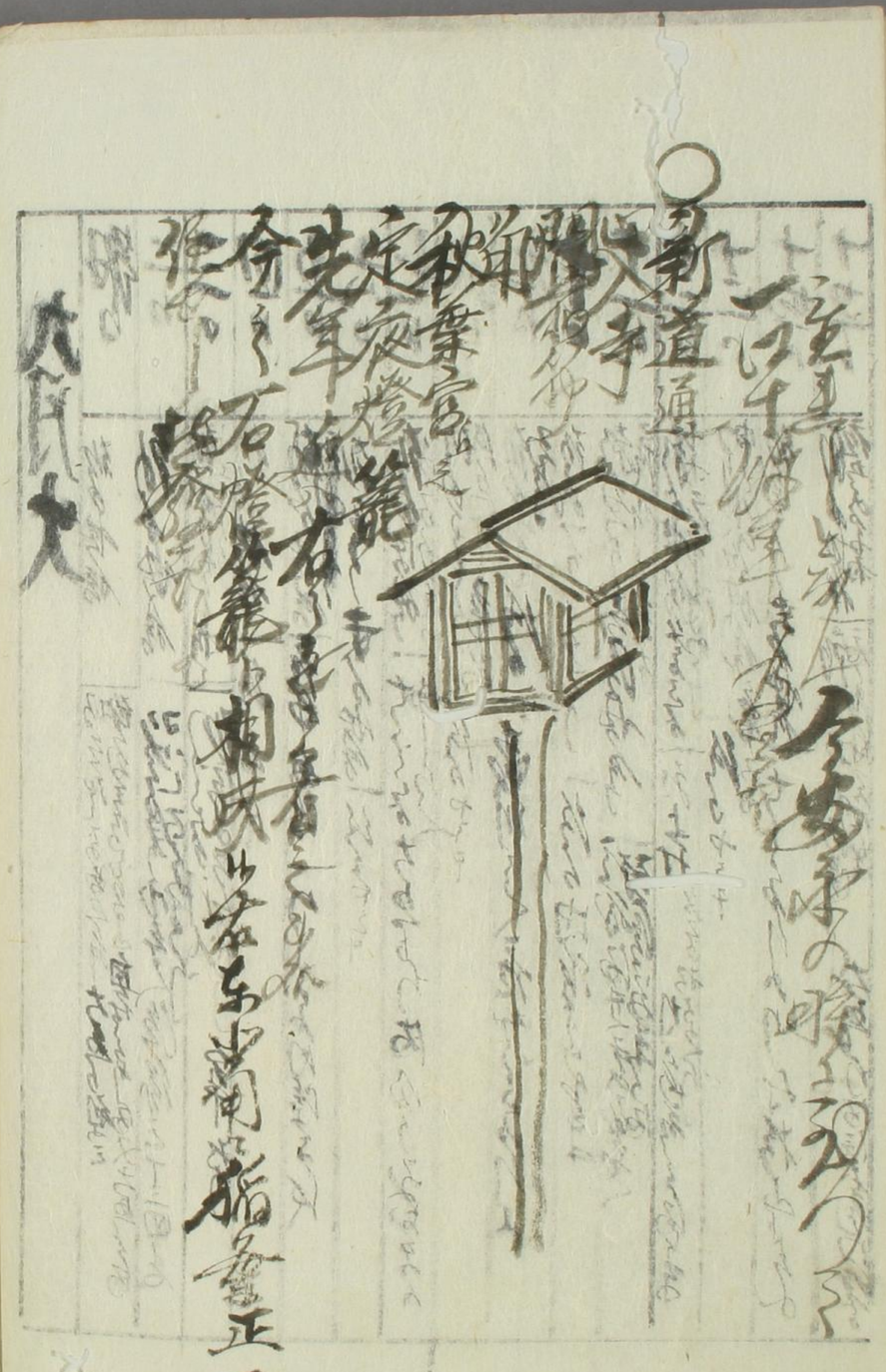
普光寺村

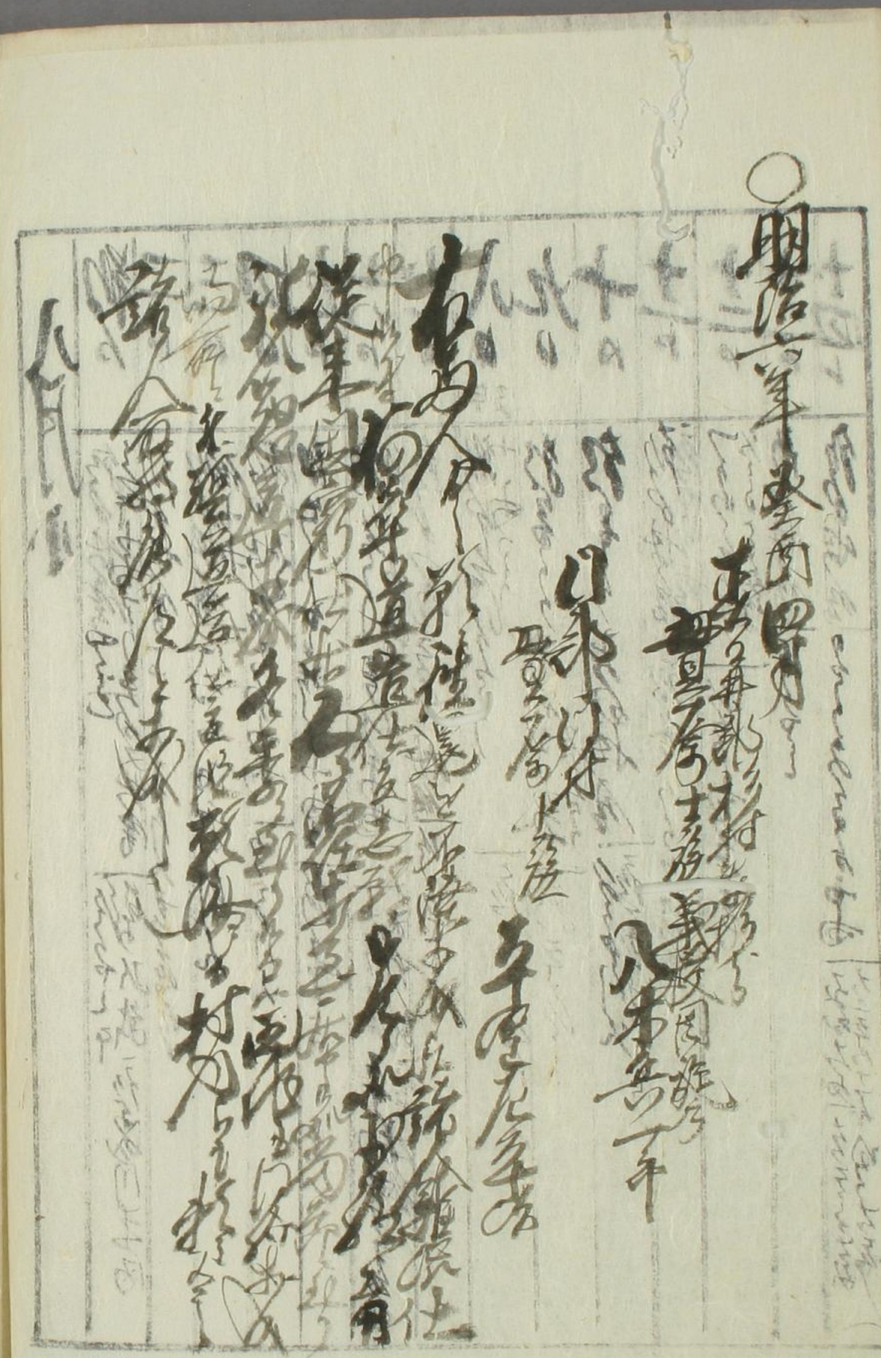
東杉邑

○杉山神社

杉山村







一
一
一
一
一
一
一
一
一

大宮

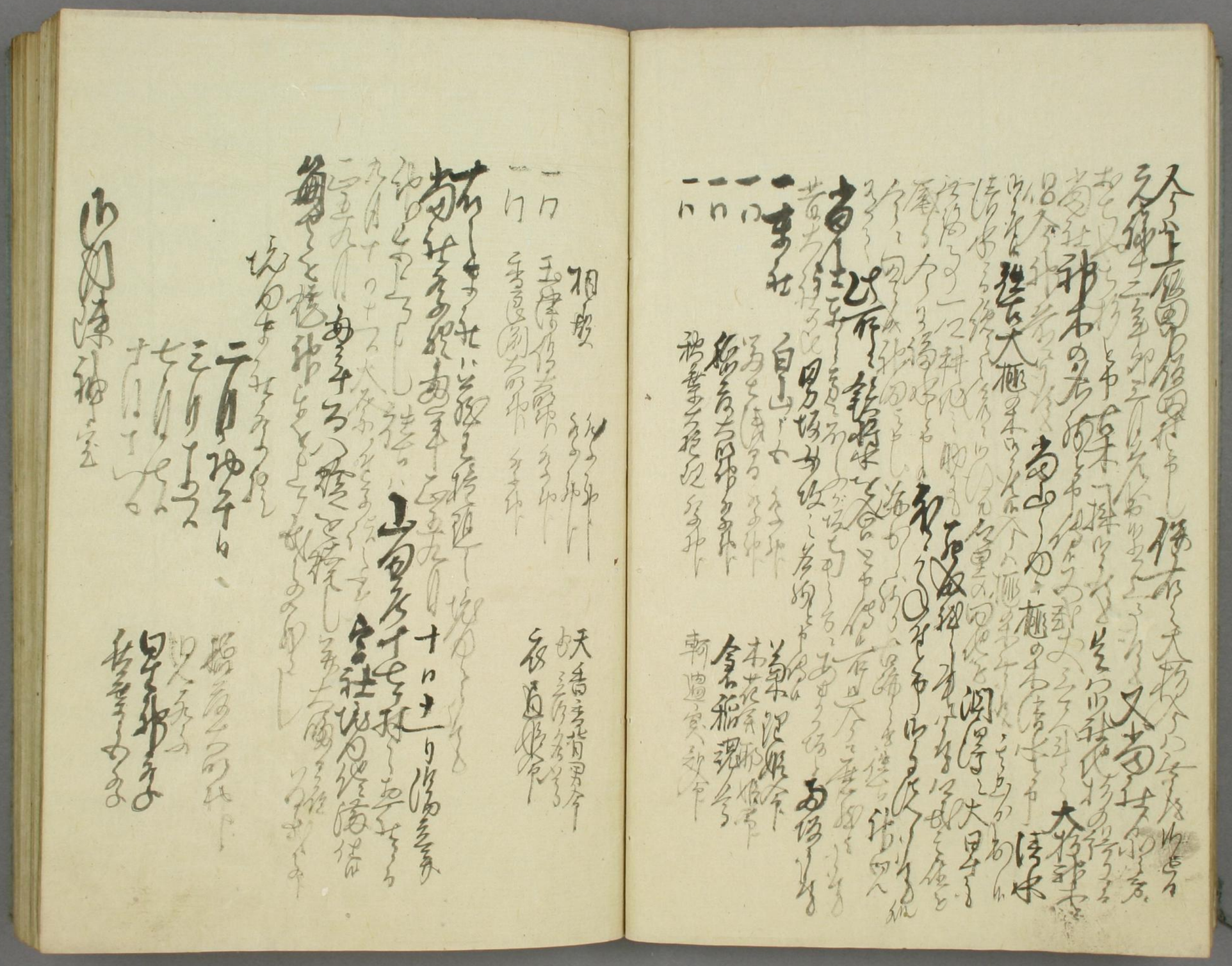
一

一

春日社

一

[illegible]



# 叙錄

## 古棟札

一奉修行[illegible]大[illegible]

一奉再造行[illegible]

一奉修行[illegible]

天文[illegible]

一奉修[illegible]行[illegible]大[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一石祢　一社　名称　石凝姥命

右之一社ハ竹取氏ノ祖先ノ神ニ

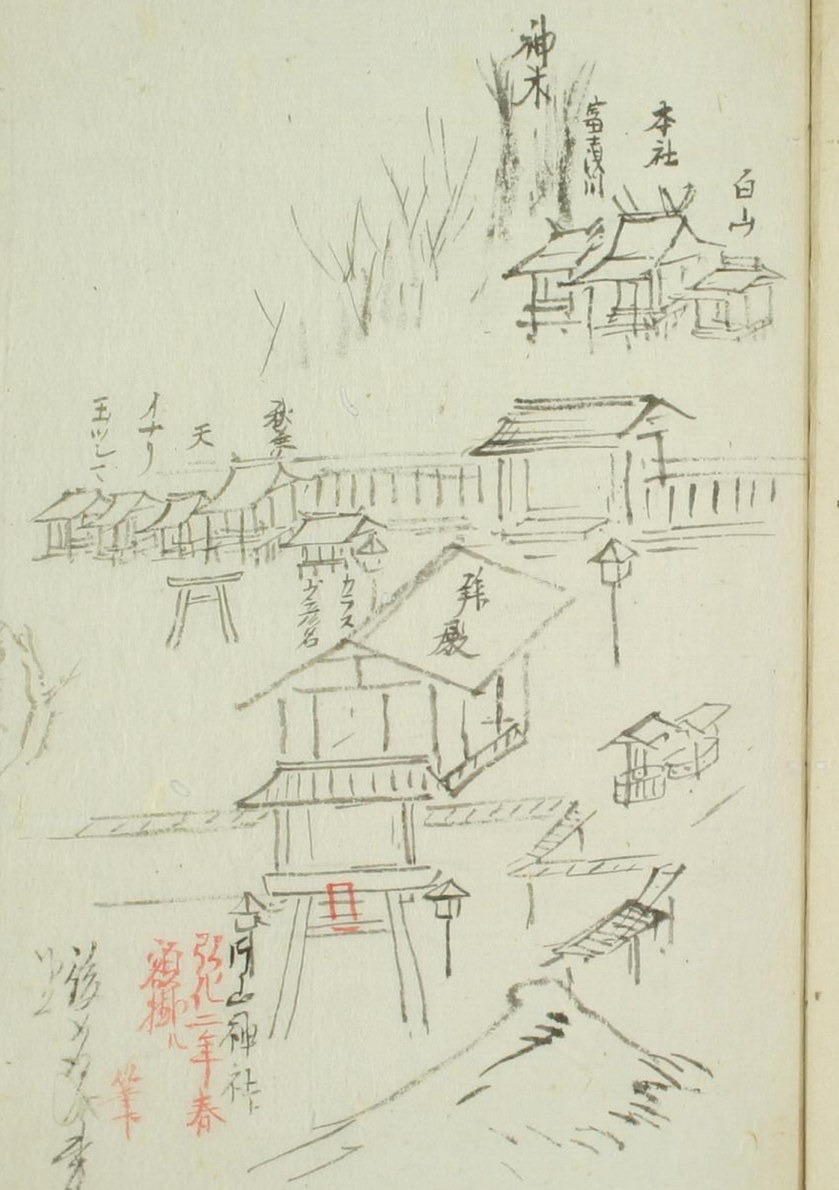
[illegible]年間遷座年数不詳

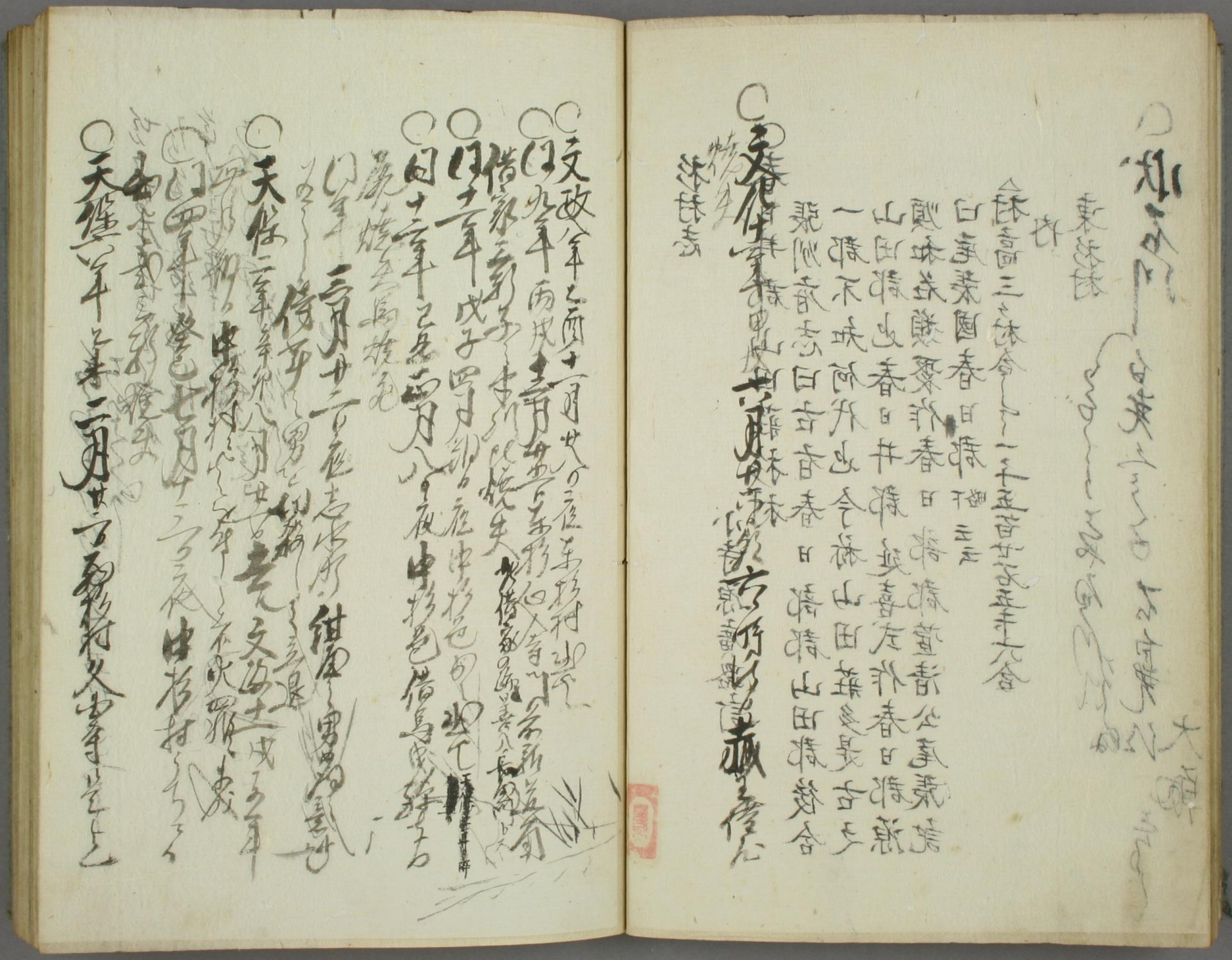
書[illegible]年永[illegible]四拾[illegible]村

一　毎年六月

一　[illegible]　[illegible]

[illegible]年[illegible]





片山神社
片山神社
文和元年

○神祠前獅子

獅子ハ置用式ハ地漁獵獅子ハ公碑頭

鬣有類ヲ以テ霸

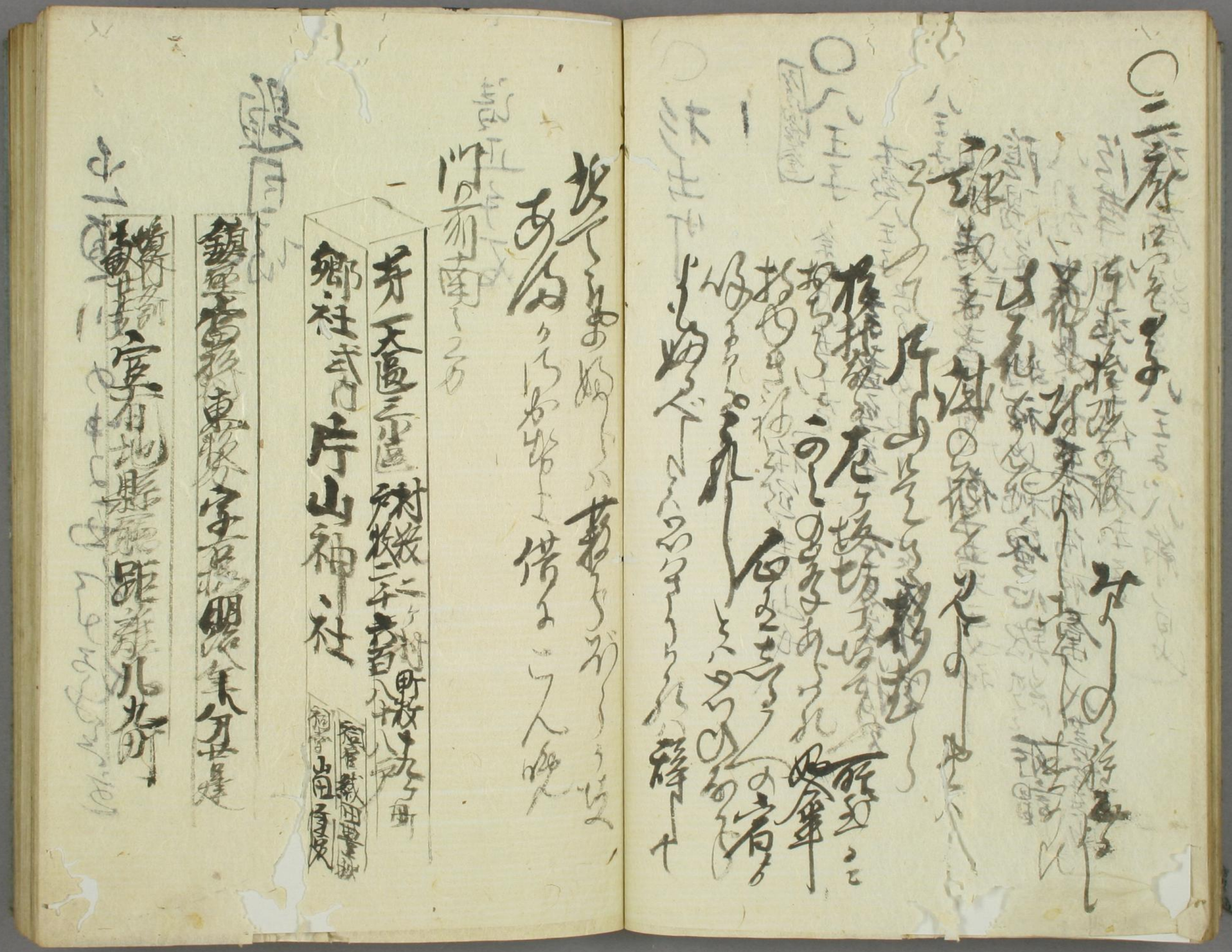
組ト云ハ桜狸ノ佛師ニ作リ好テ猛ク狂ヲ獄

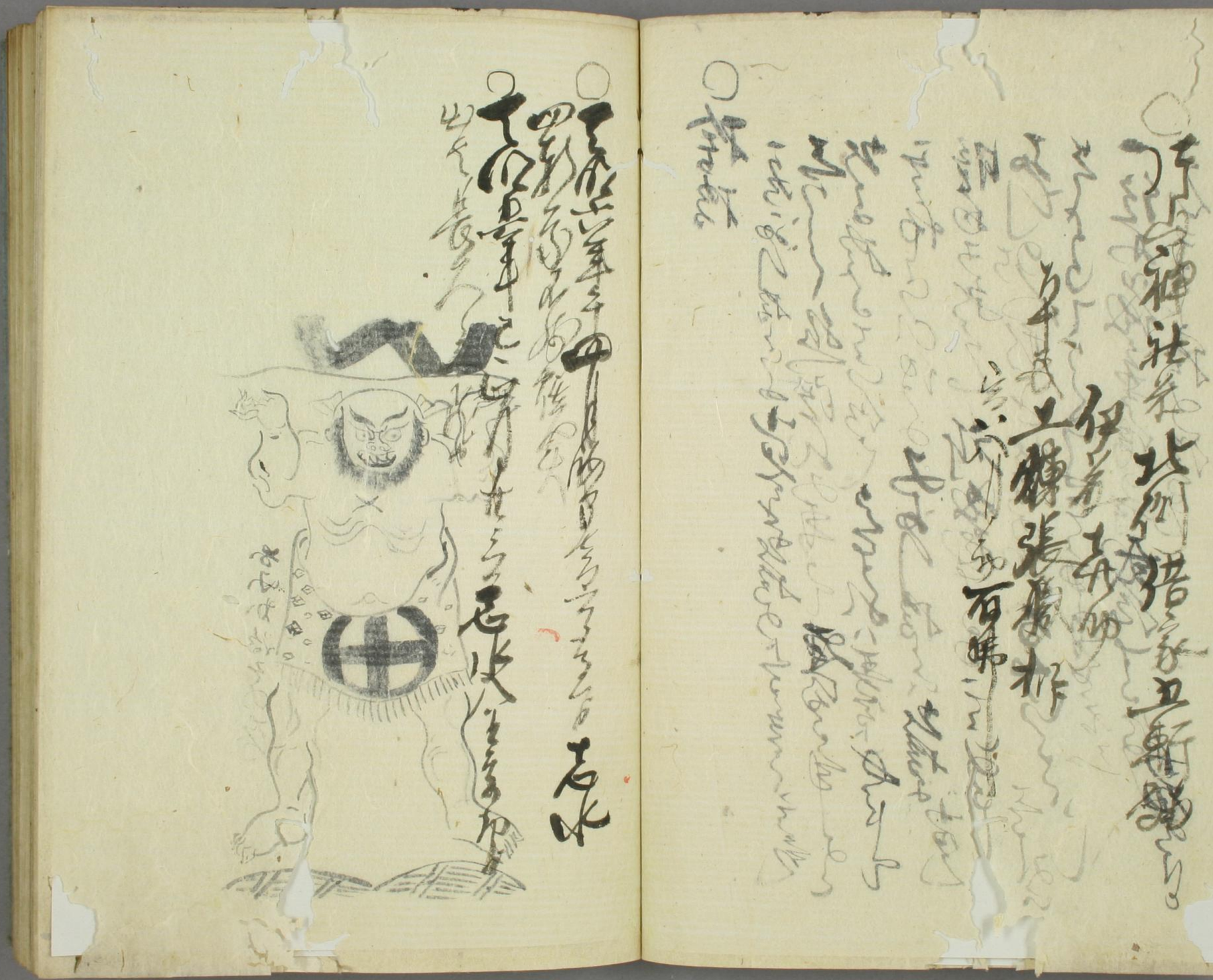
合ノ紋ハ谷一駝戦ヲ刃ニ彫蘭ハ白ク

殿角ニ朝奏表ニ上ニ剣ヲ潮光ヲ好テ険ヲ

類多シ獅書纂要今光等獅ノ右ヲ弟知ニテ

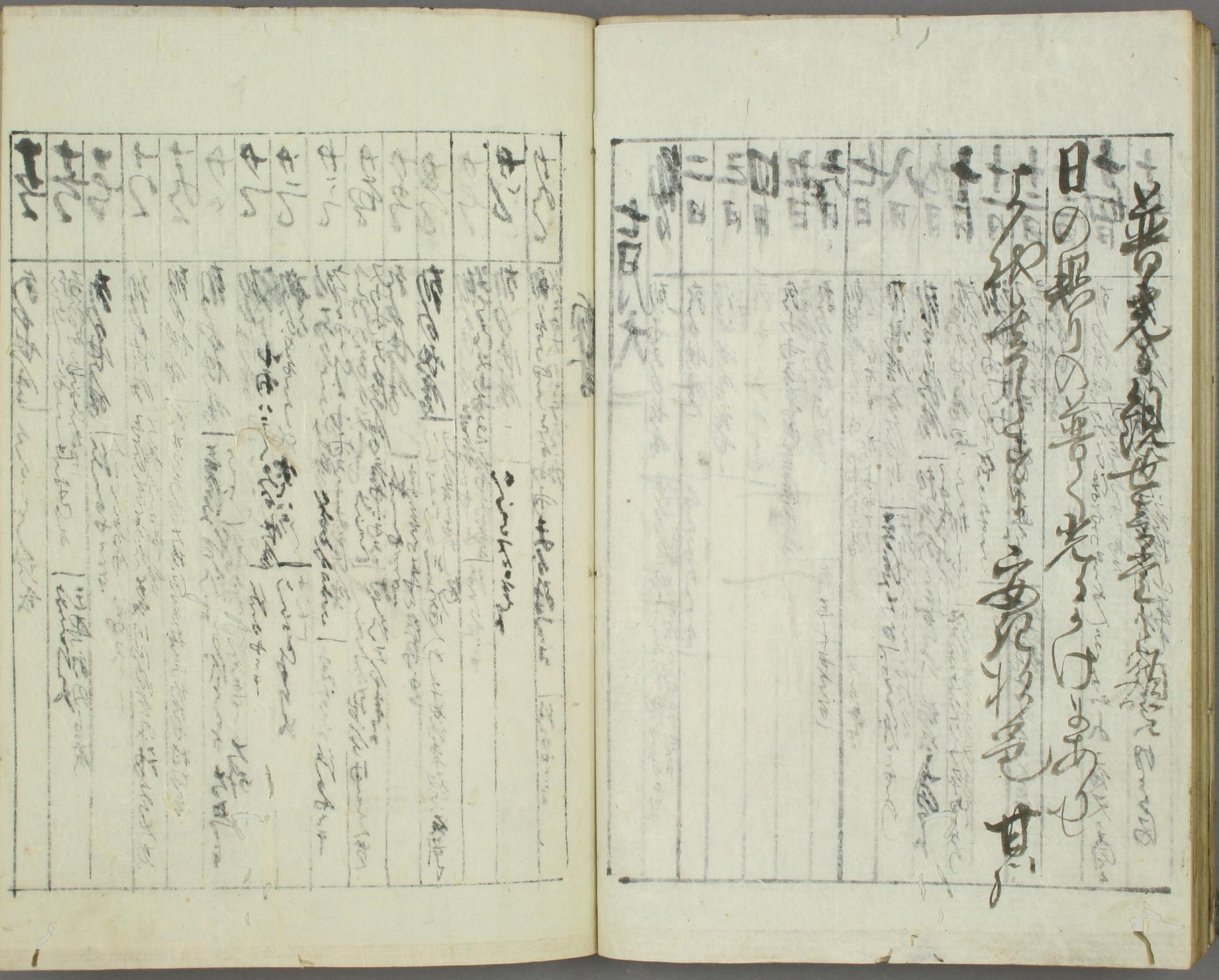
一二獅ヲ好ナリト思ヘルノ能舞ニ高ク尾塩

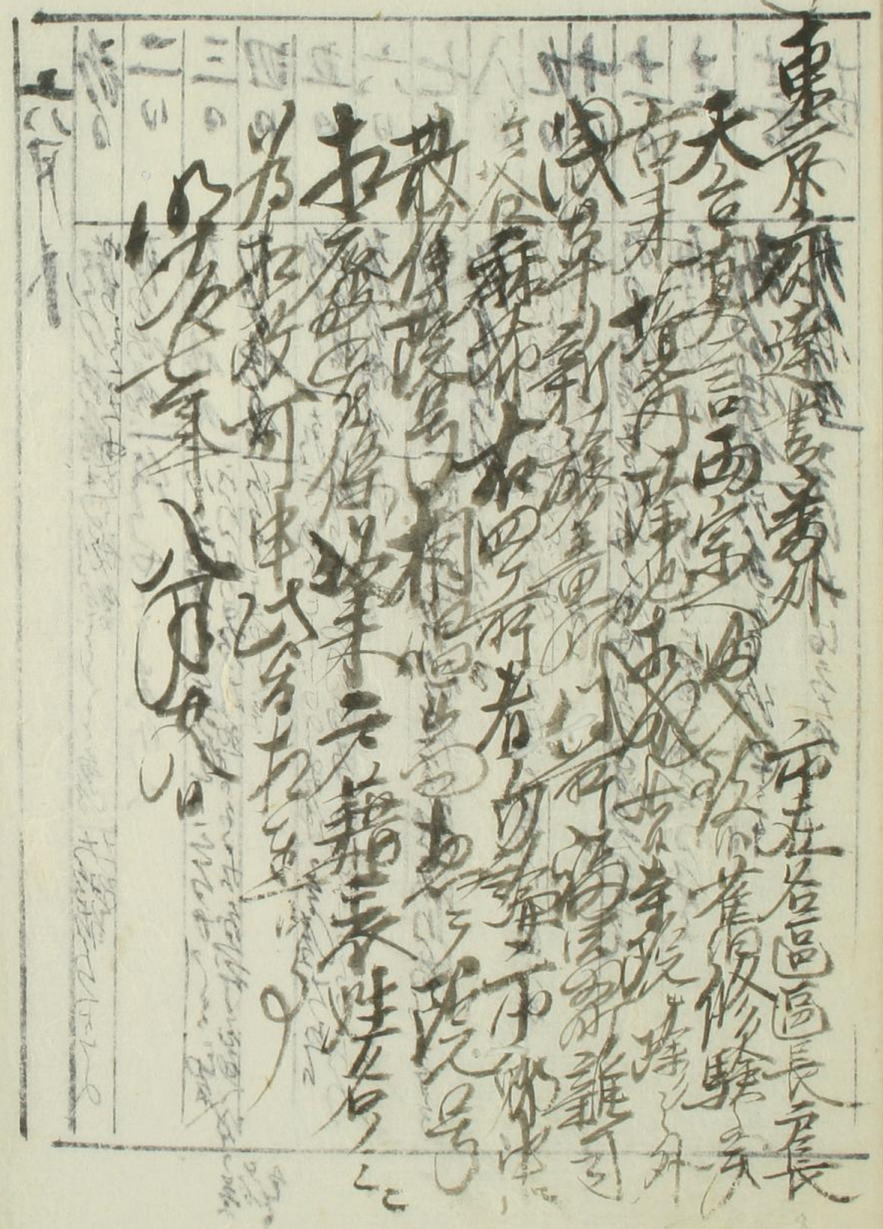




信楽入 [illegible]
太平 [illegible]
随 [illegible]
入 [illegible]

中村 新道 [illegible]
海源 [illegible] 中酒 [illegible] 大山 [illegible]
植留 [illegible]
[illegible] 石所 [illegible]
大庄 [illegible] 一 [illegible]
元禄 天保六年 [illegible] 北植留 成 [illegible] 長 [illegible]
[illegible] 桜 [illegible] 大阿闍梨 [illegible] 大和 [illegible]
寺 [illegible] 一 [illegible]
内 [illegible] 若山 [illegible]





○文政元年戊寅十月十日出船品川、右佳々

○文政元年十日夜

今夜稲葉氏の屋敷にて味噌煮出る

味噌煮出る

井伊家にて

右佳山書記

其ゟ[illegible]及[illegible]九ニ[illegible] 伊勢村

[illegible]

吉田[illegible]

作事

[illegible]

徳山[illegible]

[illegible]吉田

[illegible]

一[illegible]

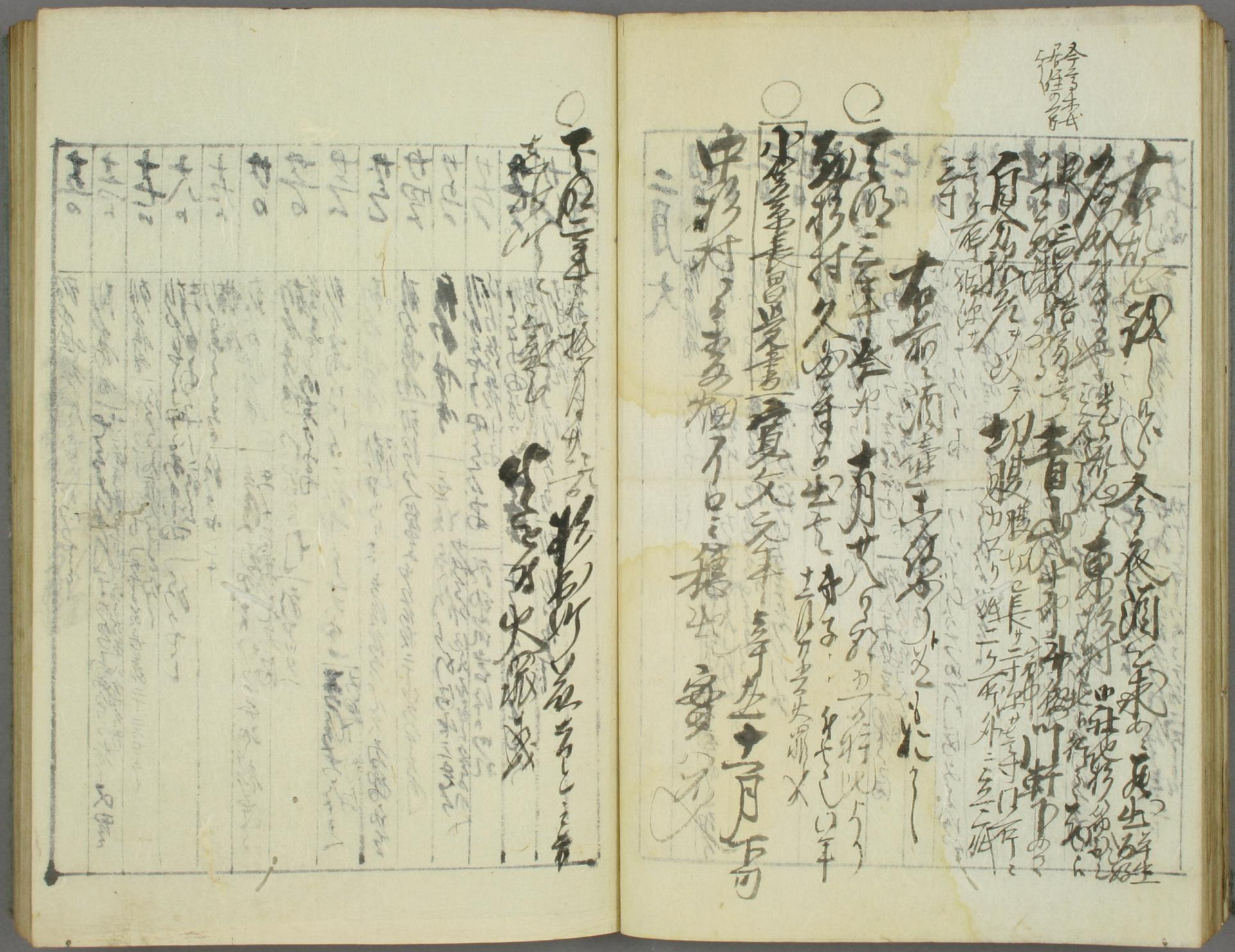
作事

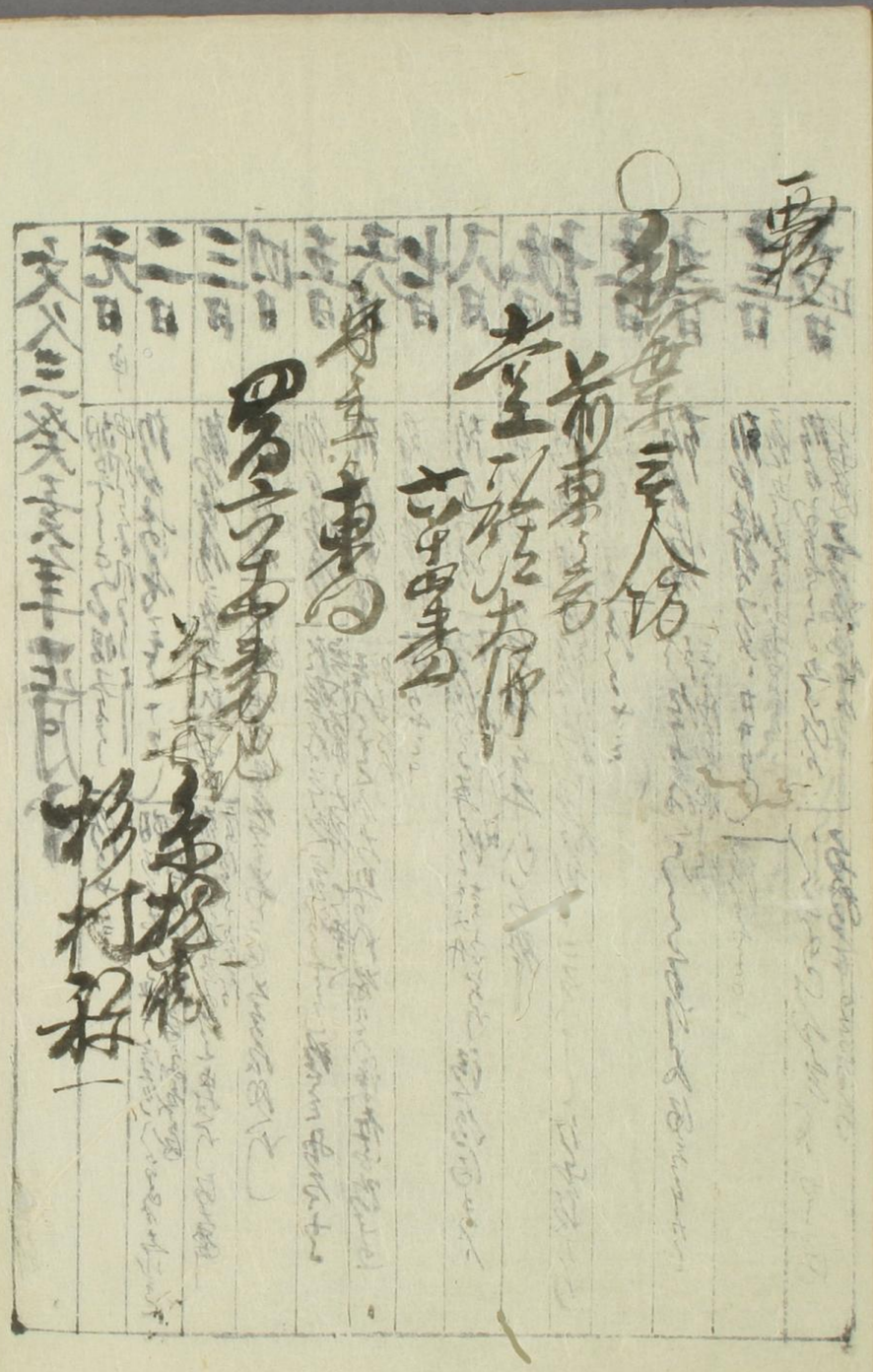
[illegible]

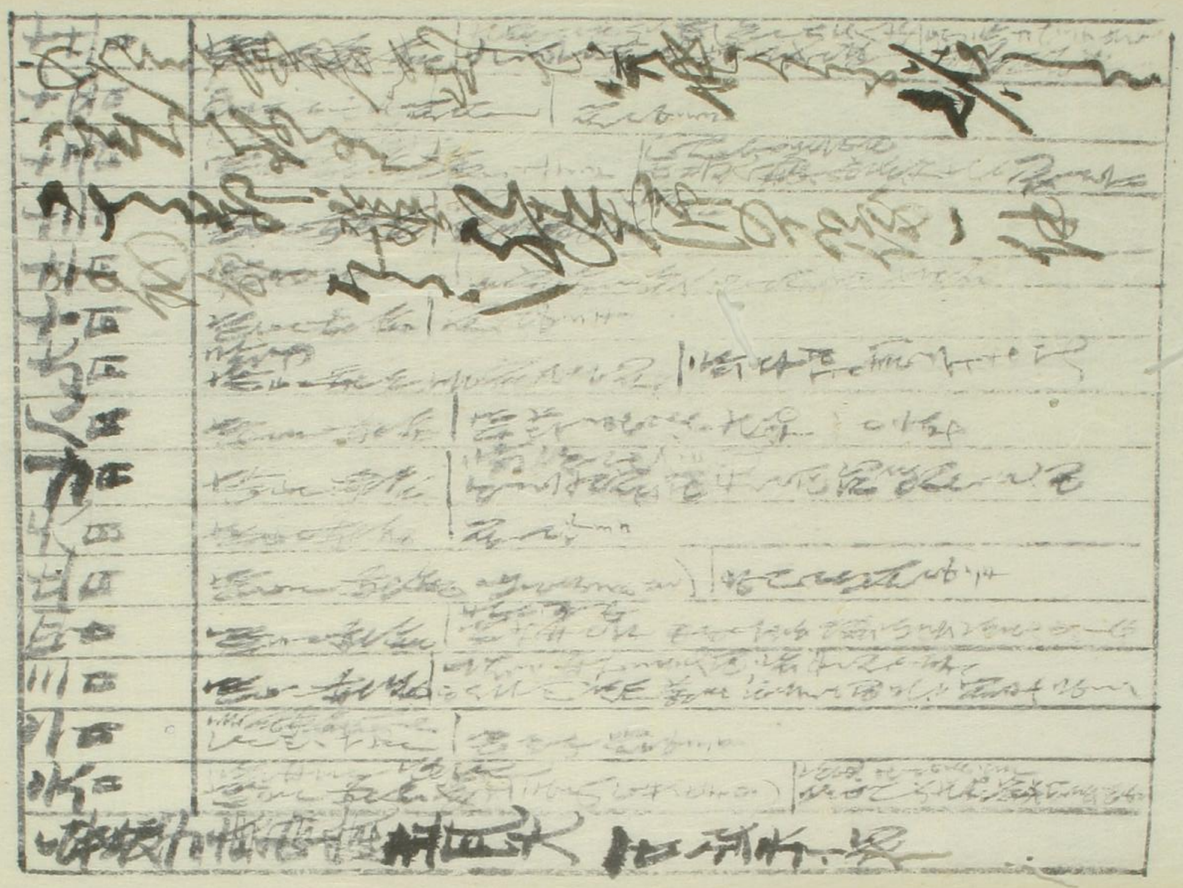
文政九年丙戌十[illegible]月[illegible]日夜

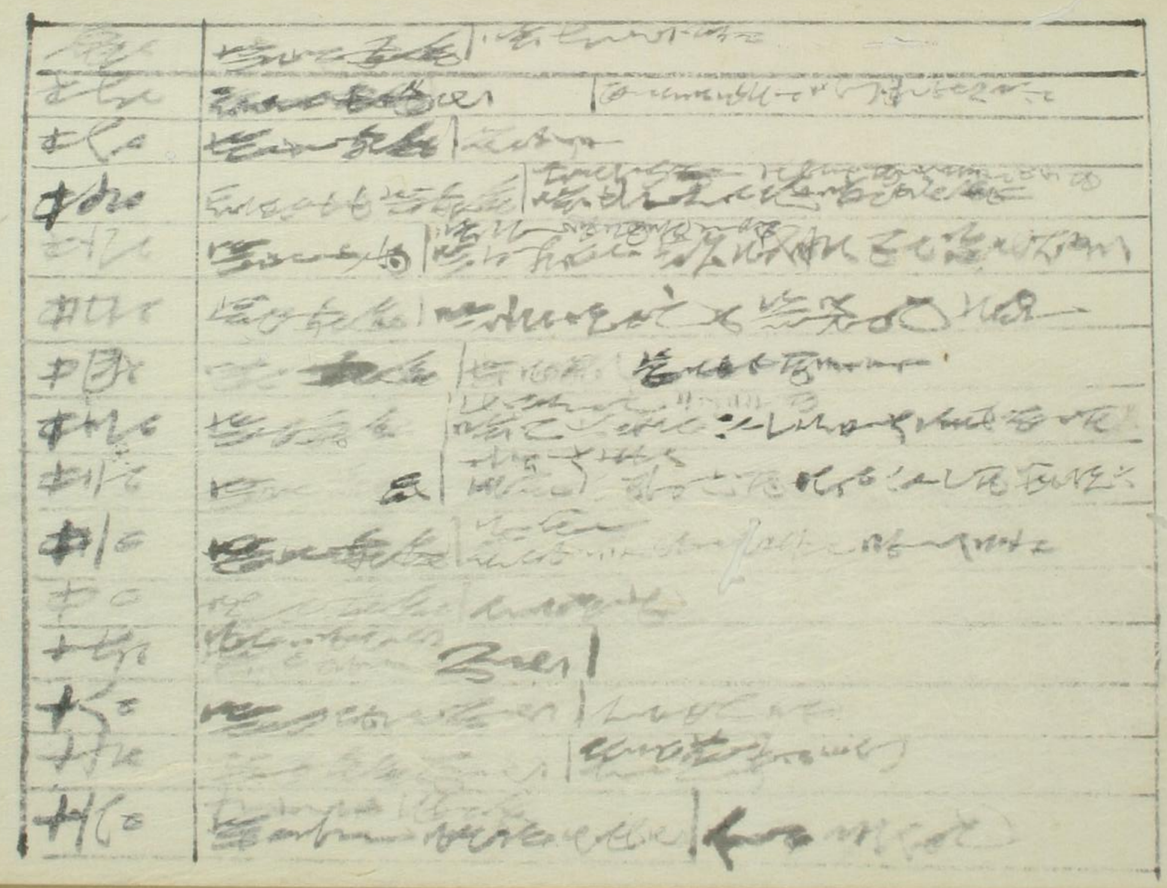
上[illegible]

[illegible]



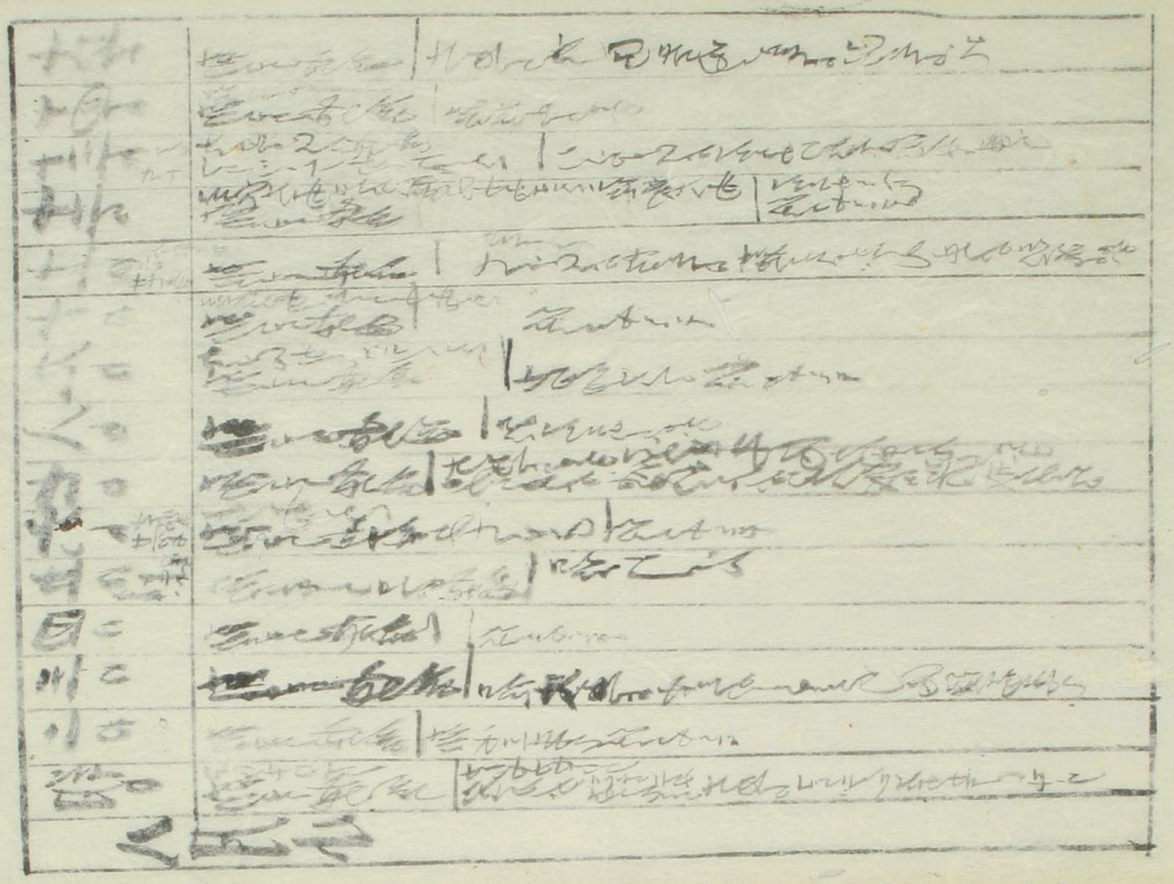


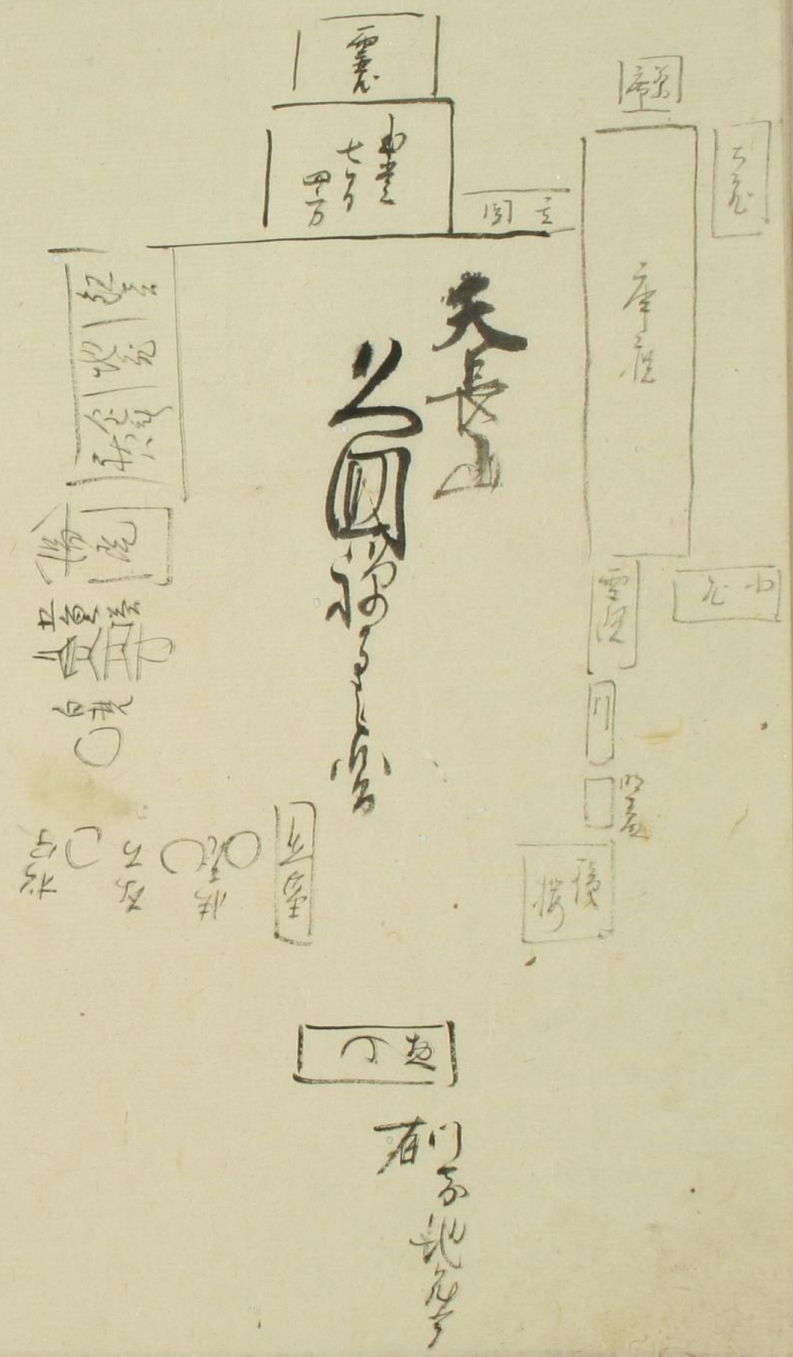




十五日
十四日
十三日
十二日
十一日
十日
九日
八日
七日
六日
五日
四日
三日
二日
朔日

十二月大





二万六千石四斗八升八合　　高井郡山田村

一　池村地続　　東西　南北　中村　　村高　戸数

一　犀川　　高サ　巾

一　石橋　　犀川ニ掛ル

一　板橋　　巾　長サ

一　御通　　巾　長サ

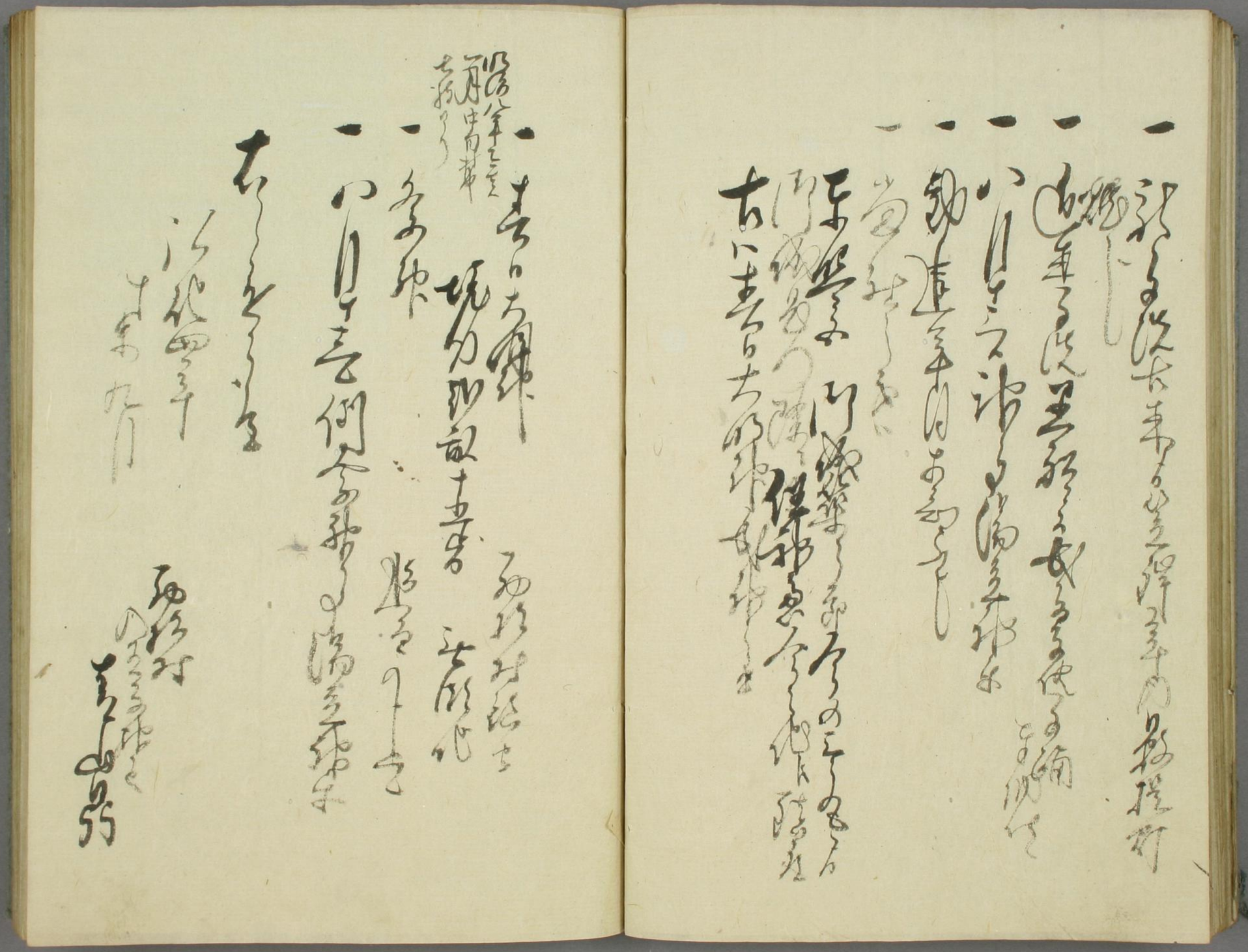
一 [illegible]

一 社 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]



右ちん守之所ハ[illegible]
[illegible]

天長山久圓寺

一 當寺ハ慶長五年ニ長圓守[illegible]建立[illegible]

一 宗旨[illegible]

一 四世[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]行[illegible]本佛[illegible]

一 [illegible]

一 鐘[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 鐘楼[illegible]

鐘銘曰

華鯨高吼久長巓 觀世[illegible]

月下聽之闡瑠落 花前聽之[illegible]

與羅六道輪廻夢 驚起衆生煩惱眠

百八十方諸國土 一聲剎界大[illegible]

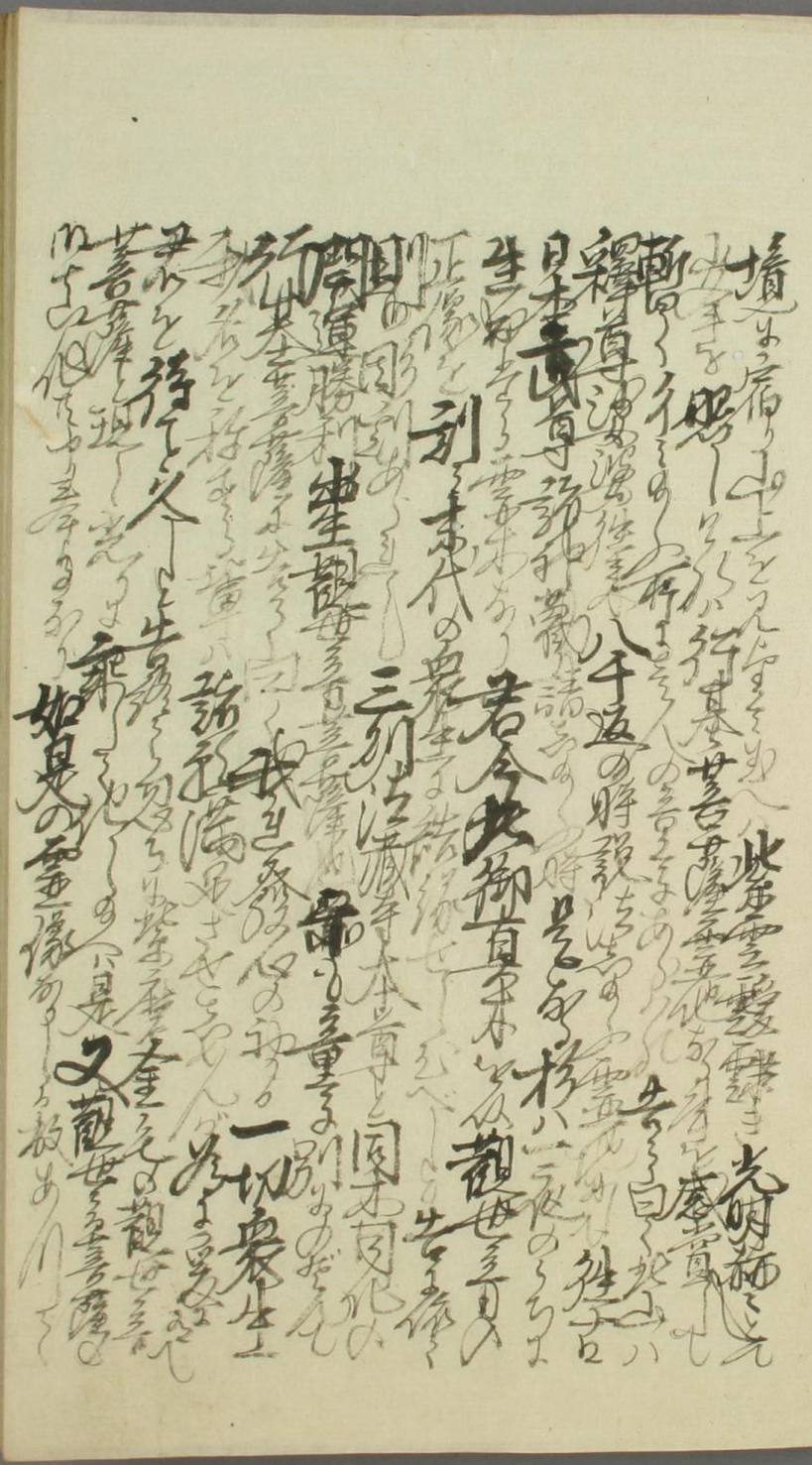
鰐口 銘[illegible]有り 無銘

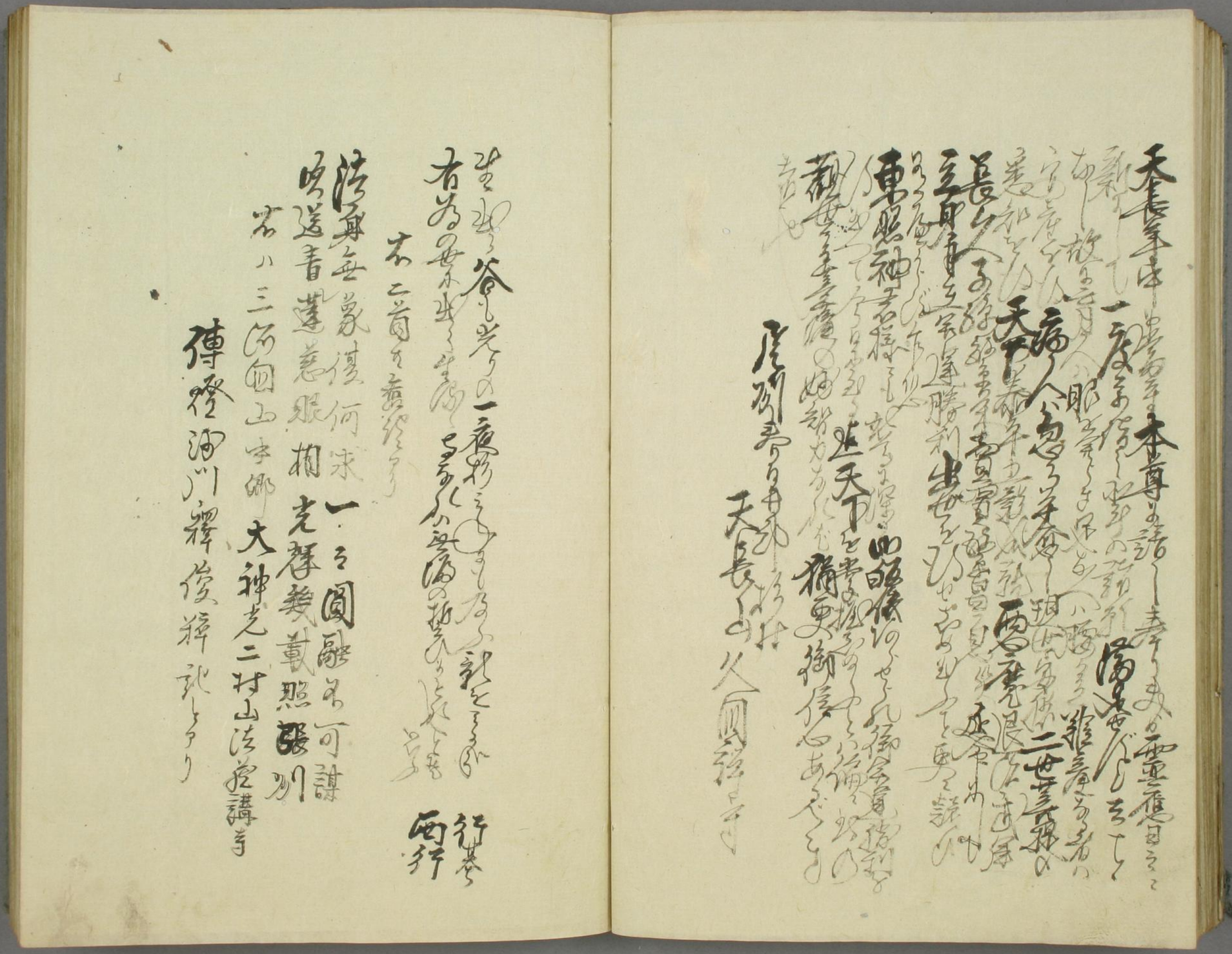
一

本尊

柳

久





別堂本尊子育
當寺開基
一刀三礼の御作
大師御
寿命
大師

大師の御

別

延命

臨命

天長山久圓禅寺

當山鎮守湯殿

抑湯殿御本尊

越前國南條郡湯殿

又

一人の異人

即生而天行常喜

使者

我

其長病

加持

湯殿

山号人[illegible]山嵓[illegible]白[illegible]

[illegible]四時の[illegible]

[illegible]照[illegible]

[illegible]伽[illegible]

[illegible]清明[illegible]

八百年の[illegible]

大[illegible]

[illegible]

寿[illegible]

二 京都御[illegible]
御城下[illegible]

楞伽山

解脱寺

一 [illegible]

[illegible]長[illegible]

[illegible]大[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一ヶ年[illegible]

[illegible]直[illegible]大[illegible]

[illegible]海[illegible]

一[illegible]

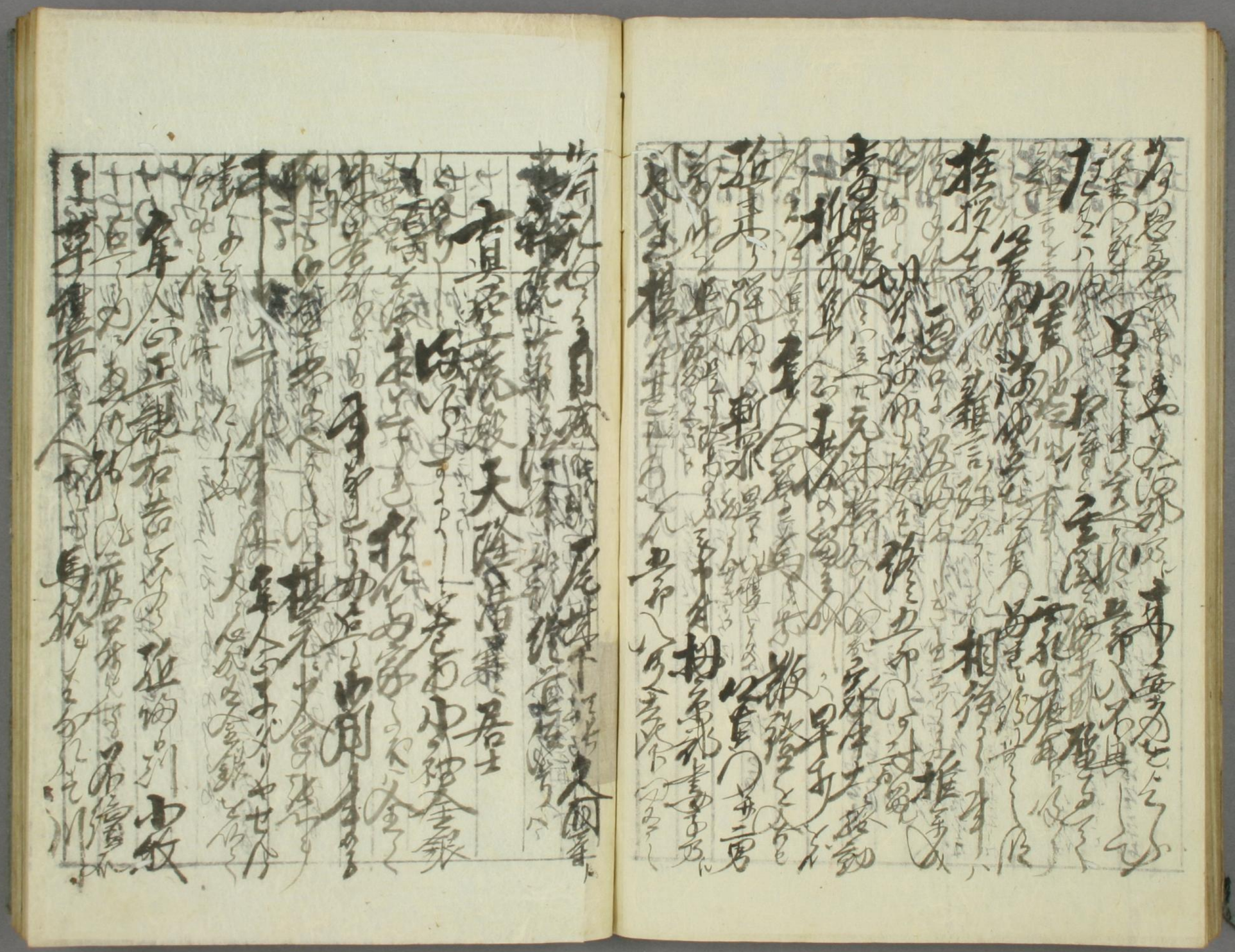
一 改ら新ニ櫻御山ニ[illegible]宗[illegible]
一 境内四方[illegible]
一 本堂[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

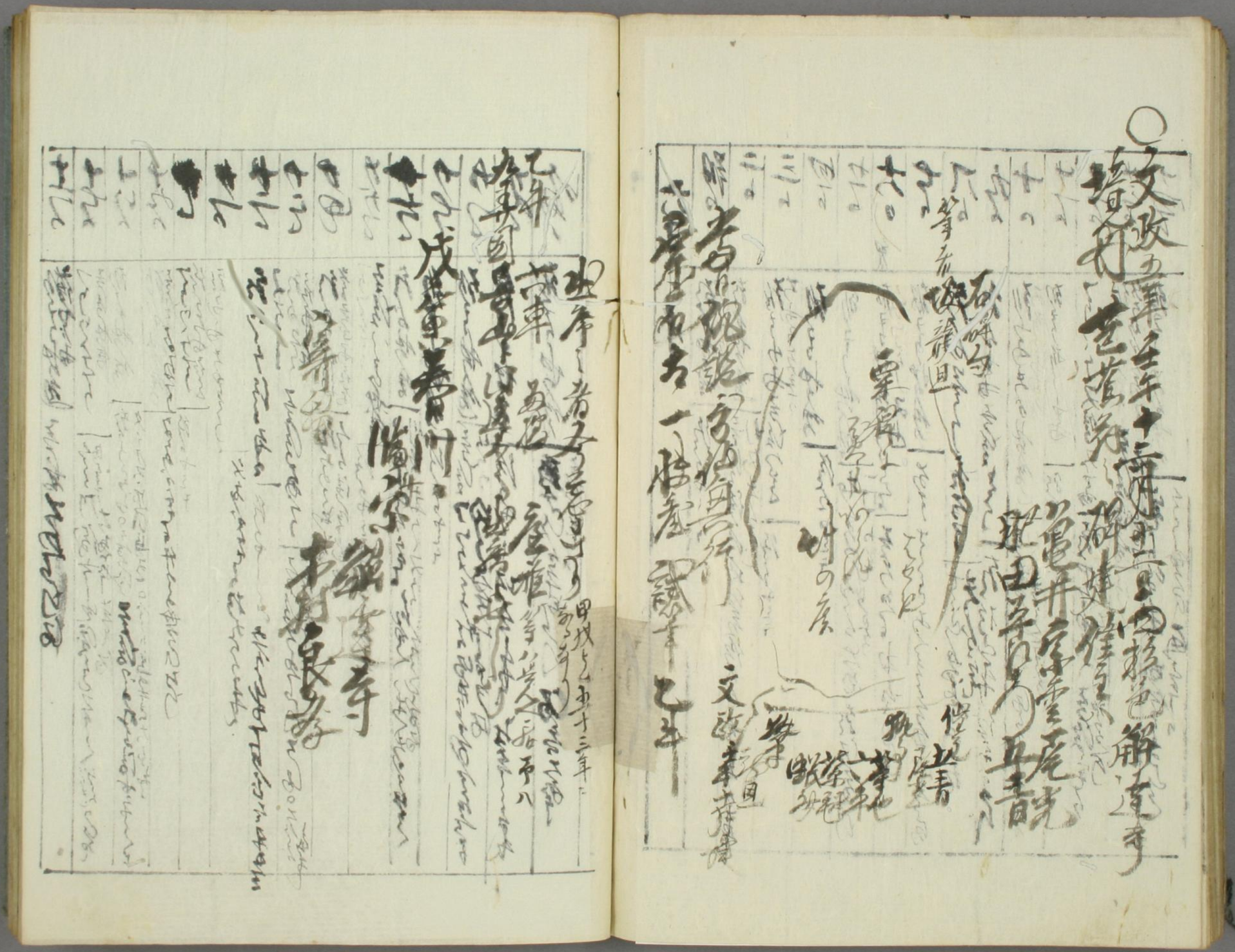
一 記銘石碑
但し[illegible]之神[illegible]三月廿日
[illegible]
葉[illegible]堂

利根川圖志
古城跡 臼井宿の[illegible]東南の方一町半[illegible]
石の小祠[illegible]星人[illegible]
此祠[illegible]正和二年[illegible]
[illegible]竹若丸[illegible]臼井[illegible]八月七日[illegible]
流武[illegible]遺言[illegible]竹若丸の後[illegible]
兄の遺言[illegible]
[illegible]

裏ニ旅ハ[illegible]云へ下女[illegible]早く[illegible]出[illegible]文を取りて山岩へ
岩井流安（印西岩ニ[illegible]）[illegible]流安大ニ驚き自ら山伏の
[illegible]竹の丸を[illegible]のまゝ蔵し置き逃げて鎌倉に
去り建長寺住僧（四）将軍と善と号す生長の後
本[illegible]のちに足利[illegible]
和[illegible]白井左近将監殿といふ竹の丸
の[illegible]白井の城[illegible]下女の[illegible]流氏の家謙と
岩[illegible]告て[illegible]流氏大に怒りて旅衣を[illegible]
旅衣も其場[illegible]
路流長海を[illegible]抜[illegible]
[illegible]流長[illegible]首を討[illegible]
是を[illegible]一石の祠を建て是を旅衣[illegible]
[illegible]此放し[illegible]叶[illegible]

延宝八年庚申十月廿六日
[illegible]
[illegible]
早[illegible]良
[illegible]
[illegible]





○

○尾陽雜錄全　巻六十五　寺社

八王子　素盞嗚尊　左若宮八幡宮

右説等素盞嗚尊ノ御子五男二女ナリ

陰陽家ニ既往神也　教授ニ心累遷ニ所謂八部并

是也　薬師佛所屬八部　法華經法八王

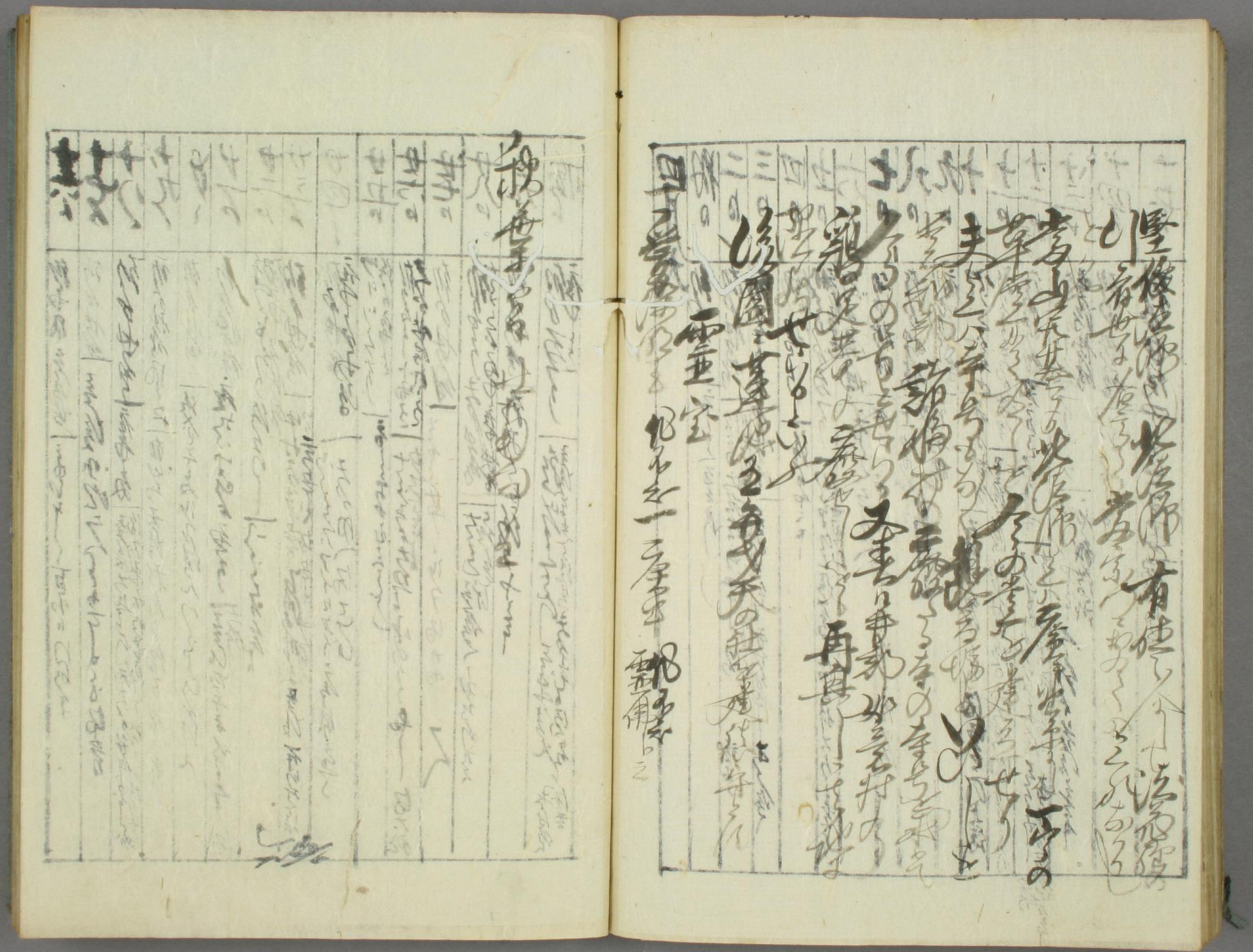
行屋五云云

毒ニ屋敷ニ八人部ノ日也

○松洞山長谷寺　真言山長谷寺

本尊十一面観音　聖徳太子

開基　全学　法華宗



○東叡山長久寺一名一乗院

寺家

本尊山王善福院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○

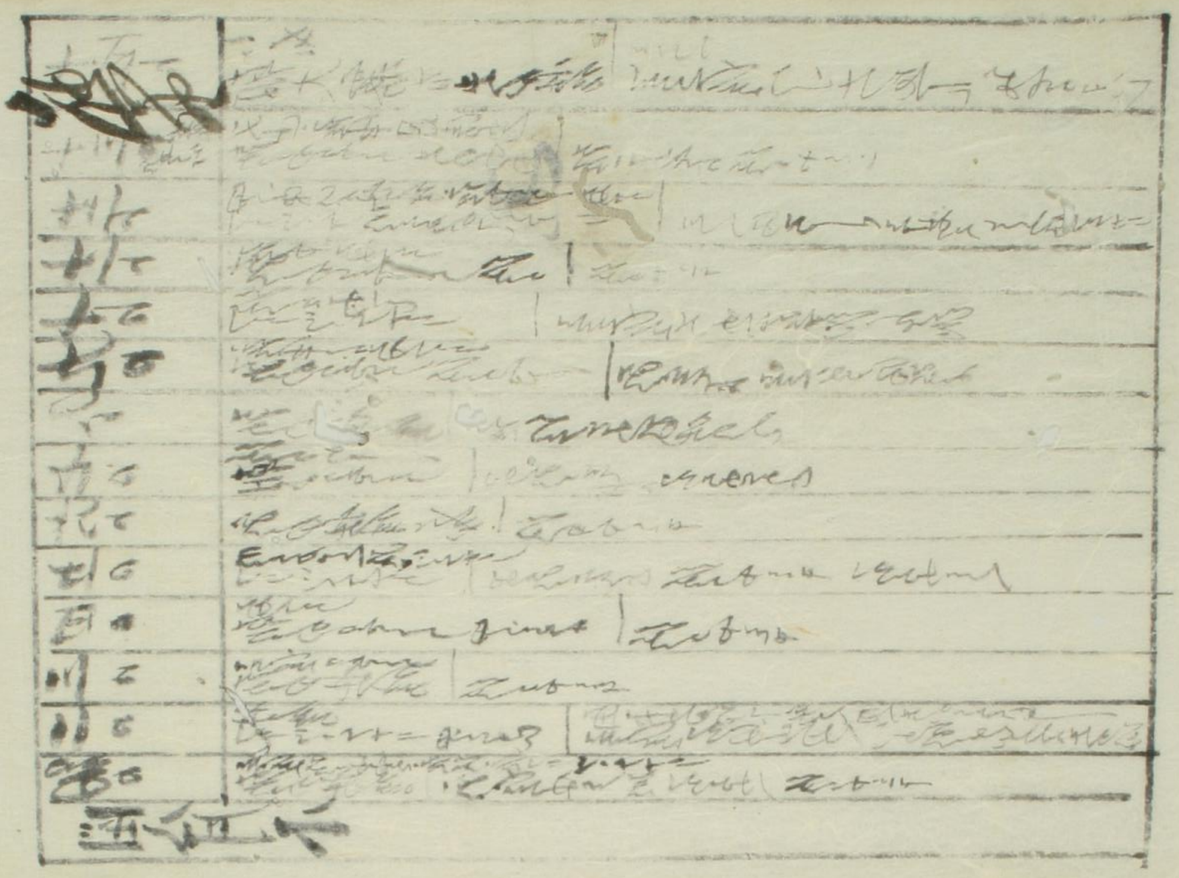
金毘羅神

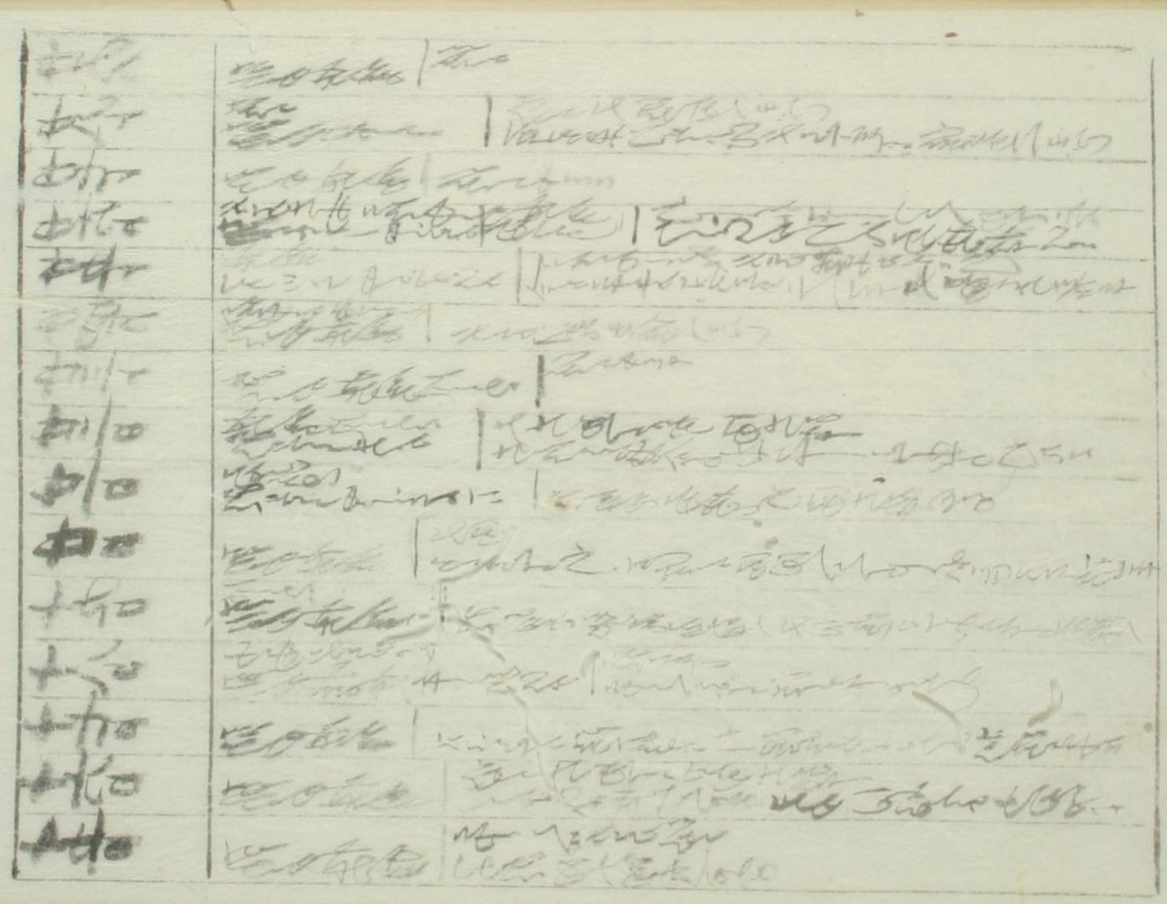
三社

宮

村社

[illegible]





○一日中根氏俗称義右衛門文政十年病死を訪ふ
の大鉞を形模

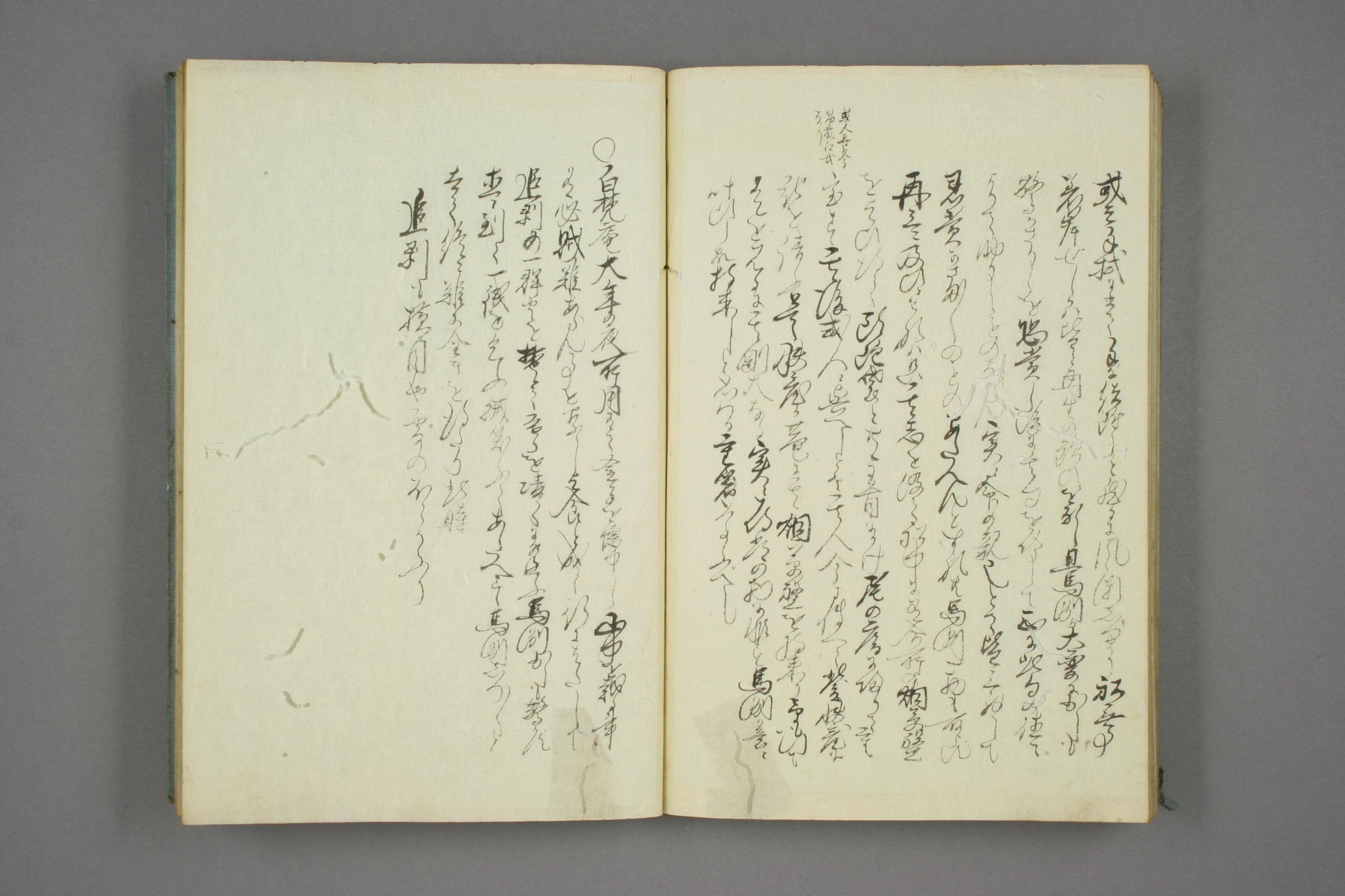



肥後国白髪庵の大鉞は二丁程の行方知れず
白髪庵の白山宮の大鉞

柄は
こゝ木魂こゝいつ書こゝ大鉞
の一句を逆よみ文書
白髪の業を偽作
正面こゝ朱印
白圃
比鉞

右文述ふることく年経りし文字定かならぬ所多し此外り
古き絹帳に掛物二幅有り海翁也古かりしを書ひ
しもの也海翁といふハ此家の先祖にて宗方に宝永とし
俳諧を好む此家の人にて此家ハ古き物を此家ハ白蒐
四条の所に住し所縁代目の主を称す人此家
庵のこと申す也梅をこの帳に白蒐庵の大紋有し
柄八相に亭しるしたる家に此家の政ありし所にて静を
記せしとのよ白蒐庵の句ハさとしハ引らしと云之し
折る人し
右二幅の内一軸ハ程物なり
宛を見れは一面ハ西にありて五老と伝ふるを伝へしなり

夢もちるや孤山の梅あらく
名々
[illegible]し当時にも此の別に中根氏の家之物なり
[illegible]
又一軸ハ絵画額表具俗也
子をとりるハやつかふ人さこ年の春　三の句
めてたのさとり今存せる
或人右翁の一軸ハ翁の政道也一度せられし時の事右の絵を見たるに
○白蒐庵馬関伊勢の四方を渡海の時雑用にて第
出生は何もわからさる馬関にて袖を引きて訪ねて安
しくて情を中の風呂一ケ所[illegible]
我に来て居所へ送りて御なし



或随筆ニ 小田切春江[illegible] 寛保元辛酉とし

卯月四日異鳥の大鳥を貴賤[illegible]人 何事の方へ

まゐりて[illegible] 見物し[illegible]

の人々[illegible]の[illegible]別[illegible]の星を聞へし 長さ[illegible]

あるいは[illegible]一丈もありて[illegible]

あまりに[illegible] こと[illegible]

いかにも[illegible]

雨の下より[illegible]

或書ニ

[illegible]

[illegible] 律

月海前　文政八月　寶暦五年乙亥の秋　川端道喜の十三回忘追福の為に

庵海記

白梵

刈田の波の風の間に〳〵蜀黍の穂のかの北

[illegible]

[illegible]

入巷と云ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

風吹わたるあらしや二夜中の梅か香西の紀の海より
遠く見え渡る戸の遠近きこえ続きてあゐあたりしれ
ゆきかけ月の朧二長く湛へる稲葉の露も盛に
らしき野中ごとも小夜の浦も白き赤道の残年の
豆岸の垣にも荒れたる二度田の小萩を浸して戻入
るも月の前すゝや禅堂にしも野辺の見に
吹あらしは梅がかのこの里をかしく梅ヶ月にいたる
よりのこる都をも続きたる猶其にも動揺しておのゝ
志賀東西山寺の[illegible]
雅にへし栗山子[illegible]ゆきにあり
南にも眺むれば岸山の雅[illegible]西は鞍の形とあり
らす[illegible]の[illegible]しばし黄ちみのあゐ[illegible]の[illegible]西かは
廿この[illegible]の稲楼し桜のみ[illegible]二本[illegible]の[illegible]

東海[illegible]彩とし[illegible]梅[illegible]相[illegible]一月
二月あふ海[illegible]梅雪り[illegible]梅[illegible]
杉の神[illegible]東[illegible]人[illegible]葉[illegible]
童の御嶽[illegible]宿[illegible]文[illegible]小女が
坂[illegible]東の[illegible]男女の[illegible]
[illegible]梅[illegible]社[illegible]
[illegible]の男坂女坂[illegible]石[illegible]命[illegible]八[illegible]
役の[illegible]天[illegible]土[illegible]
[illegible]の[illegible]
武[illegible]
国の有[illegible]
右[illegible]の[illegible]
[illegible]

白桃花の八重咲門前の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

天保會記

○秋記屋句集

時月六日の夕方杉村[illegible]杉の生花

引[illegible]

[illegible]

世[illegible]ら九月[illegible]

同書

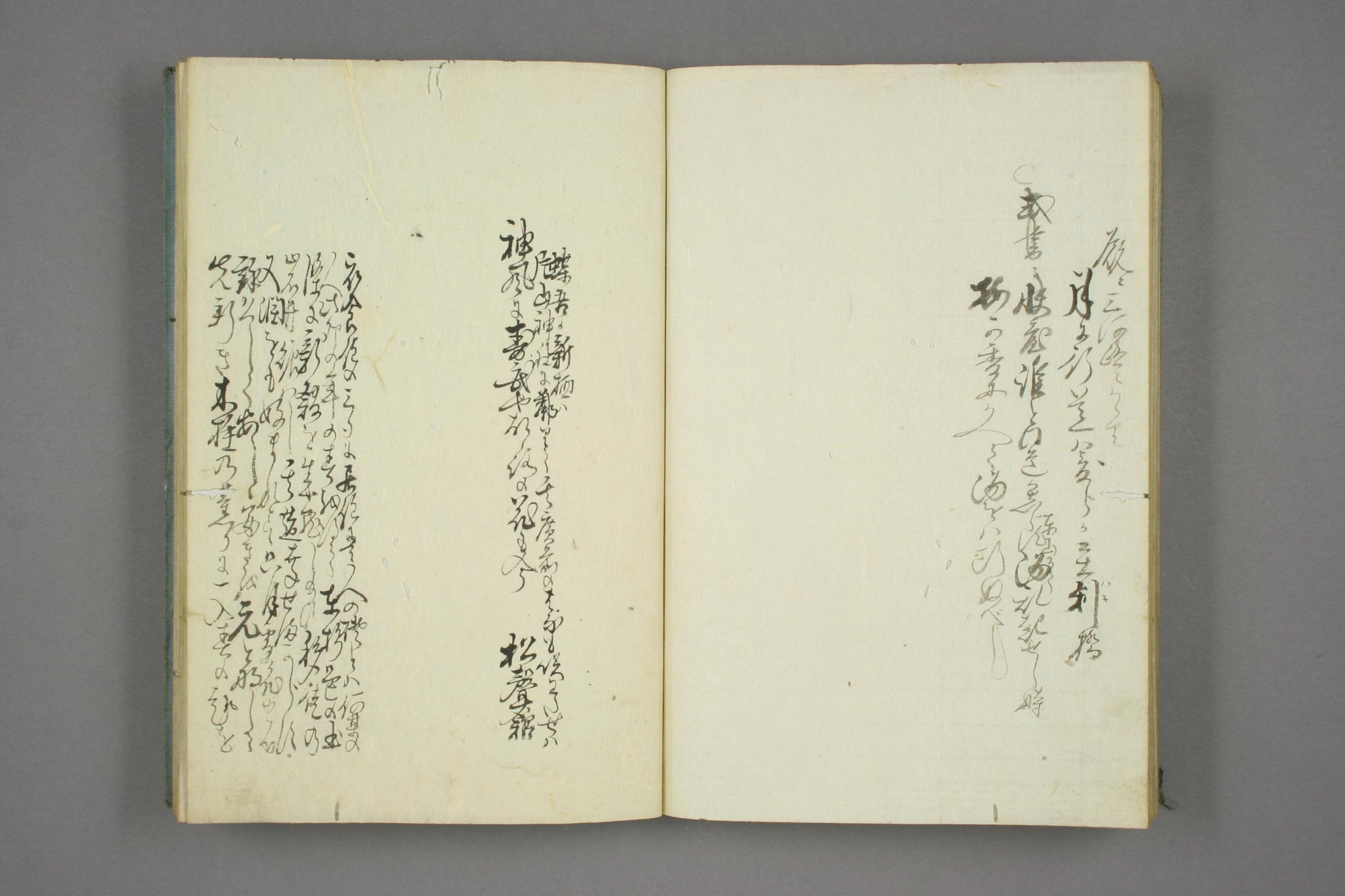
麦阿[illegible]

[illegible]

○草[illegible]

左一体[illegible]

見送[illegible]



[illegible]

遊の[illegible]梅や[illegible]

一日に郷食す　一枝の梅　風之　蝶吾

移徙賀

若[illegible]枝[illegible]　壷泉

新宅の[illegible]の時　麦二　蝶吾

[illegible]

## 梅こうへ[illegible]日[illegible]の[illegible]園の[illegible]　里川

蝶吾ハ俗木村[illegible]ハ金道[illegible]遠山[illegible]景[illegible]家臣なり新宅[illegible]
[illegible]ハ新道[illegible]門[illegible]の[illegible]舞大上[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]四[illegible]蝶吾[illegible]居[illegible]の
[illegible]文化四丁卯年[illegible]四月[illegible]七十八[illegible]
[illegible]蝶吾[illegible]
[illegible]二十五里　別[illegible]古[illegible]蝶吾

[illegible]

六十[illegible]

[illegible]書の[illegible]

六十二の歳

[illegible]代[illegible]の[illegible]

祀日毎年八月十三日

八幡社

志水衛門

淵江氏

[illegible]

遊び歩き梅や家毎の事なり　風之

一日に郷食ス一枝の梅　蝶吾

移徙賀　壷泉

若葉を数ふる家毎の事

新宅の庭に花の時　麦二

待遠しき事なり　蝶吾

梅こうへ〳〵日〳〵の学ん園の泉　里川

蝶吾ハ俗木村氏ハ金道と遠山敬夏景家臣なり新宅ハ

いろ〳〵ハ新道筋の又ハ門前の和尚ハ大上寺ゆまの信家ハ宋

左二四藩ハ四ツ〳〵ハ蝶吾ハ居宅ハ和の

年ハ[illegible]文化四丁卯年ハ[illegible]四月ハ[illegible]七十八才

[illegible]ハ四月ハ[illegible]蝶吾ハ[illegible]

[illegible]ハ紙ハ遊ハ[illegible]二十五里　別ハ古梅園ハ蝶吾

[illegible]

[illegible]

六十三の歳　六十五

[illegible]

杉村の内住せし郷今なほ

○白梅庵月空翁の門人

犬山侯の臣なり俗称榎本權平後東杉村鐵槳水流

新道通東南に居住 今百姓源六と云ふ山居住家なり 雨樹の説

[うみ不二] 白梅庵句集安永四年未刊今年三回忌に当り追悼の為大朝集

土岐の移り行く所山桜かな

ものの名のなつかしや望の山さくら

右大朝は中野氏安永七戌年七月十四日卒年五十四歳

[弊帚集初編] 三川 松平秀雲子龍著

訪白梵不遇

出て郭東草草逕斜竹林 深鎖故人家。沉吟久立無相和。

○存古録唯阿　一片夕陽照槿花

大山崎の臣なり俗名藤六と云

同家中宮原何某親子有故切腹仕其事を存ぜず陽春

〻人〻後中村村に閑居〻存古録唯阿と号

又大一菴の額を東福寺懸聯人の筆なれども悪く可有

今の橋合流八尾喜兵衛と云人有此人の孫なり西橋の

新なり

文化元甲子年八月廿五日寂年七十四

梅年の好なりし生れつき人と口をきかぬ人物にて

生れつき不幸也

○太一菴快喜

生涯小田原大久保家の臣なり故あり

内實は尾張橋爪家の子なり

大久保に抱成百石給

り酒乱〻大久保家嫌

肥前長崎に暫有し

初西新宅に利名有

寶者と不語故妻敷

異説小田原〻人切害〻

虎説より然共人と切

雖の説の異説を作

切害〻玄昌一説有

子賀家に所〻一度江

者乳母養育と者

若年

行〻強者〻

後尾張に来り居

知り生涯乳が

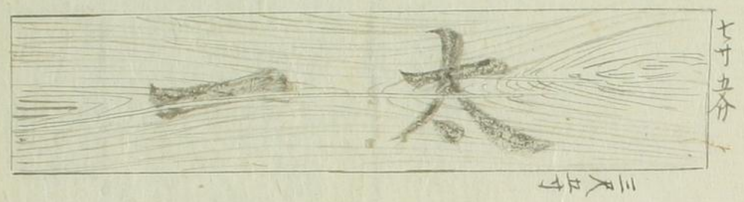
〻三ヶ所と云

乳質の人なり乳

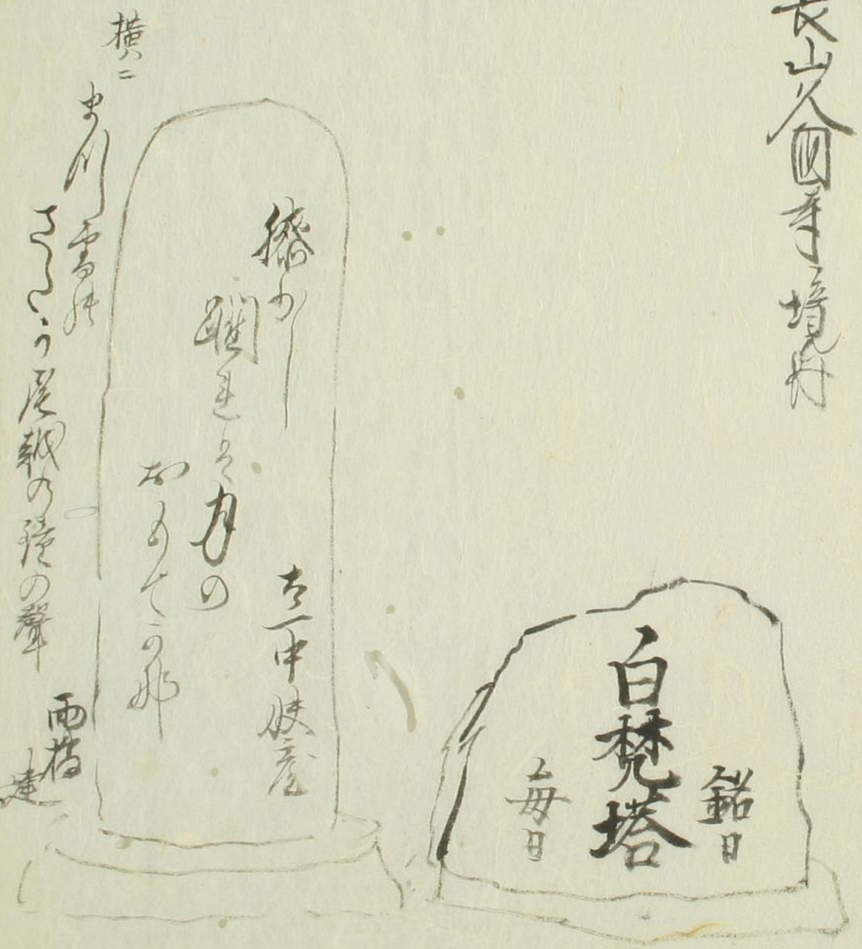
雨橋の若人を

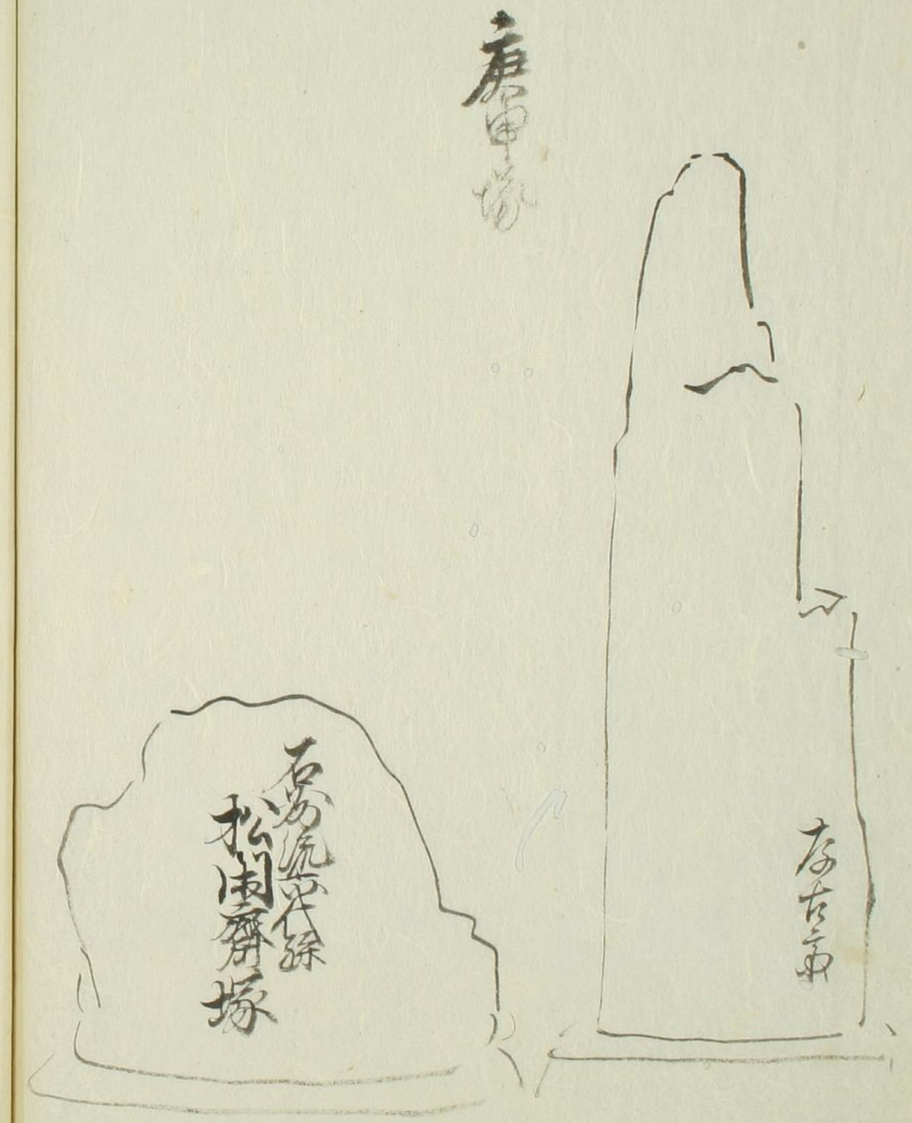
橋家の人なり

江戸に来も八人と

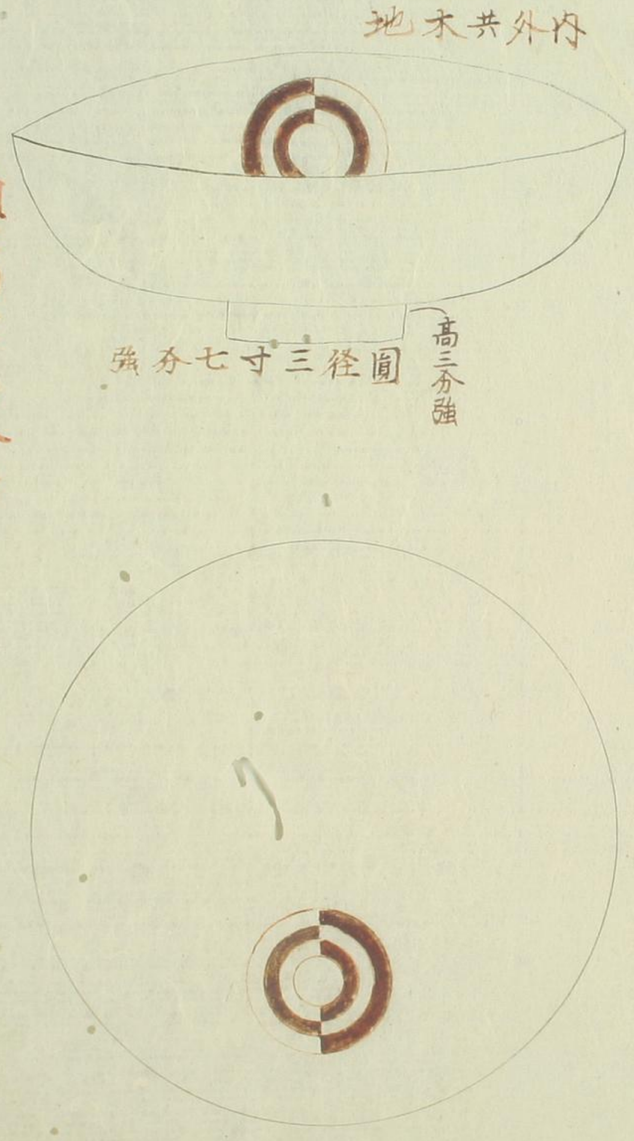

七寸九分
三寸六分

○天長山人四季境内





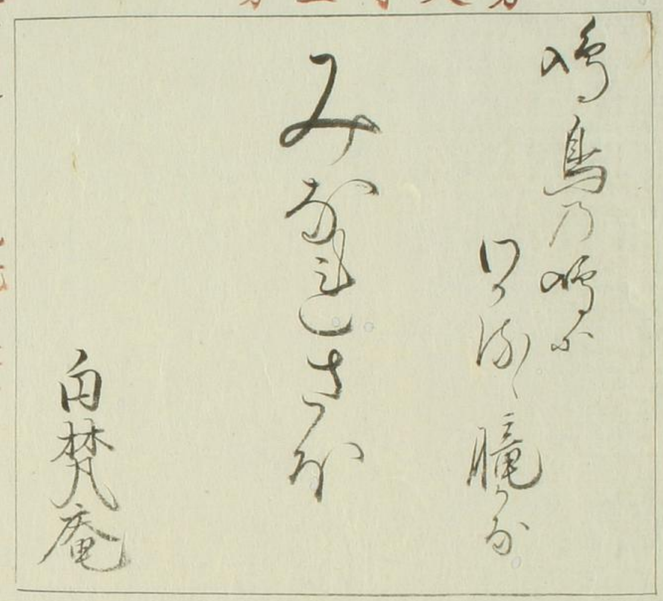

白梵庵遺愛大極盃縮圖




尾張 矢部氏藏

箱蓋

方八寸三分




右題名白梵菴自筆

要齊先生安政二年乙卯
九月朔日觀之因縮摹
同月十五日朝右圖得借
再寫之　玉晁

同雅冊所載長歌縮写

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右文面得[illegible]
安政二丙辰年四月十七日[illegible]
東[illegible]

末森山桃巖寺石碑之圖

文政十二丑年九月

以文　文至　西猪　立道　七年

[illegible]

右之七年分[illegible]

九文　長谷川文右衛門

文至　[illegible]

西猪　[illegible]

立道　[illegible]

七年　[illegible]

初代　三代文至下之

二代　文枝

人物

勝野[illegible]

[illegible]

今[illegible]

大[illegible]

東[illegible]

別[illegible]

○那人自殺蕃島川

○因幡存在井堅阿

○因大一蕃牧廿屋

○吉祥稲垣[illegible]通一[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

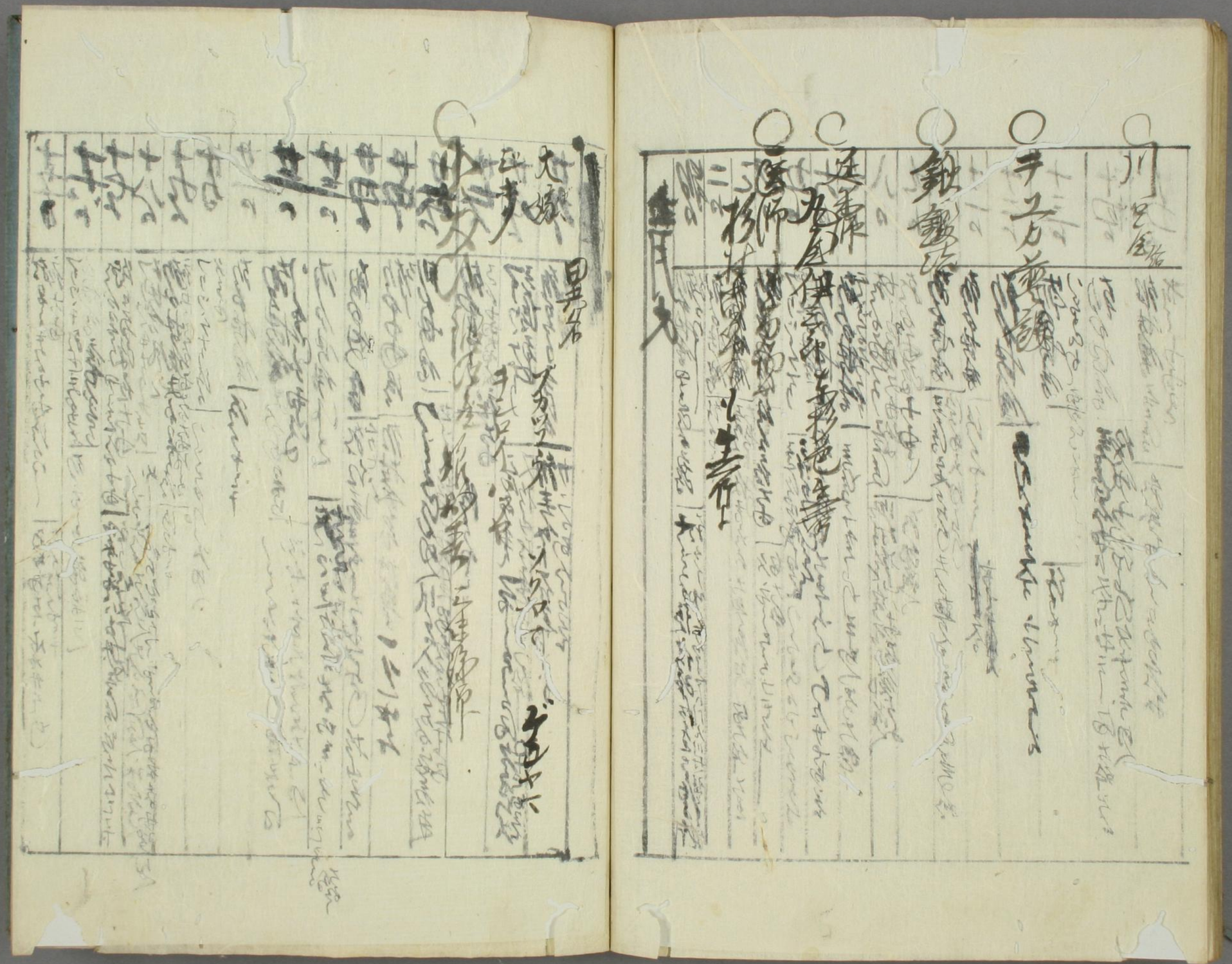
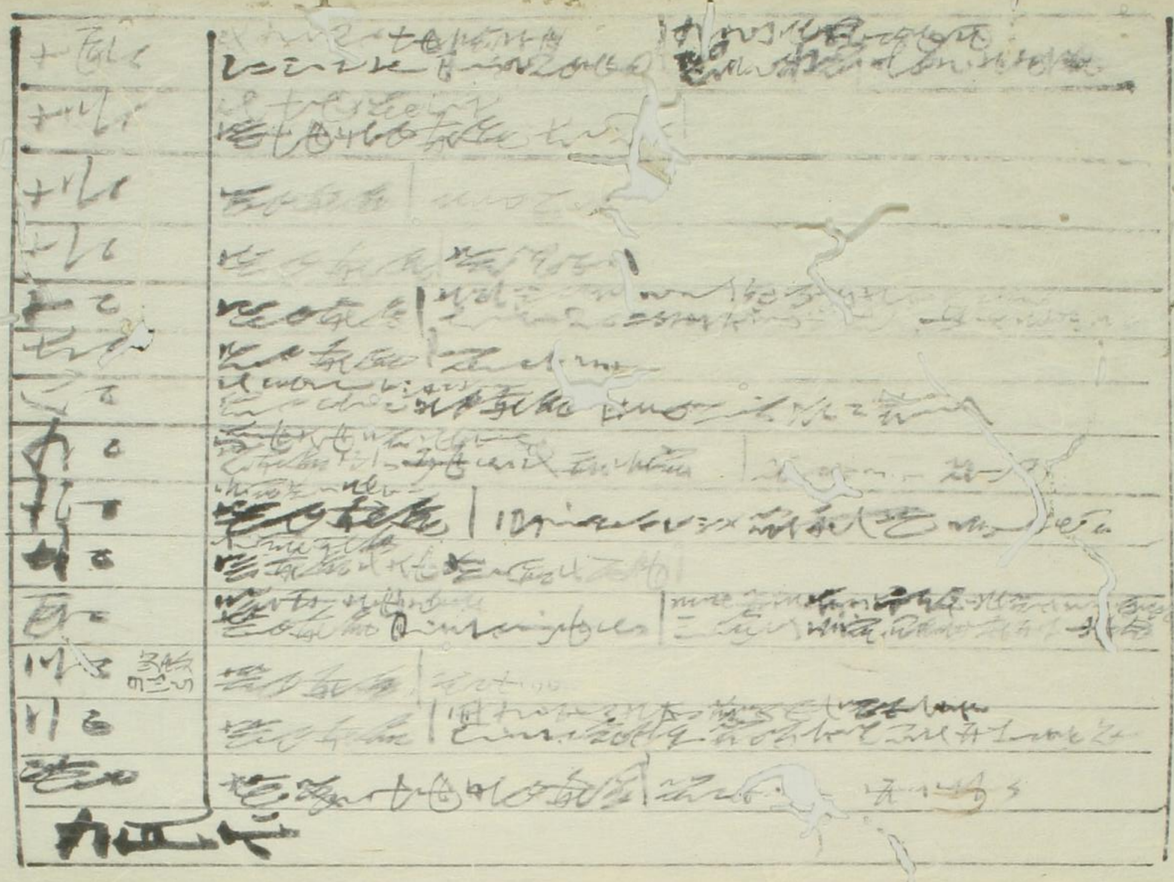
○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○[illegible]